

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	無期限（2007年8月10日設定）	
運用方針	<p>主として、三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド受益証券、日本債券マザーファンド受益証券、外国株式マザーファンド受益証券、三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券への投資を通じて国内株式、国内債券、外国株式、外国債券に分散投資を行うバランス型運用部分と、マネー・マーケット・マザーファンド受益証券への投資を通じてわが国の短期公社債に投資を行う安定運用部分に、それぞれ投資を行います。バランス型運用部分における各資産への配分比率は、国内株式20%程度、国内債券40%程度、外国株式20%程度、外国債券20%程度とすることを基本とします。わが国の短期金利水準の変動に応じて、バランス型運用部分と安定運用部分への配分比率を変動させるものとし、当該短期金利水準の上昇に伴い安定運用部分への配分比率を引き上げ、当該短期金利水準の低下に伴い安定運用部分への配分比率を引き下げます。なお、安定運用部分への配分比率は以下の範囲内とします。</p> <p>下限：短期金利水準が0%以下のとき、純資産総額に対して5%程度 上限：短期金利水準が4%以上のとき、純資産総額に対して80%程度</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。</p>	
主要運用対象	ベビードファンド	三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド受益証券、日本債券マザーファンド受益証券、外国株式マザーファンド受益証券、三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券およびマネー・マーケット・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、内外の株式・公社債等に直接投資することがあります。
	三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド	わが国の株式を主要投資対象とします。
	外国株式マザーファンド	外国の株式を主要投資対象とします。
	日本債券マザーファンド	わが国の公社債を主要投資対象とします。
	三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド	わが国を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
	ベビードファンド	株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以下とします。外貨建資産への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以下とします。
	三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
	外国株式マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
	日本債券マザーファンド	外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド	外貨建資産への投資に制限を設けません。
	マネー・マーケット・マザーファンド	外貨建資産への投資は行いません。
	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	
分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）		

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ
DC金利連動アロケーション型
バランスファンド

愛称：DCオートマくん

第16期（決算日：2023年7月24日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、お手持ちの「三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド」は、去る7月24日に第16期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**
（受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数)		株式組入比率	株式先物比率	債券組入比率	債券先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率	合成指数	期中騰落率					
	円	円	%		%	%	%	%	%	百万円
12期(2019年7月22日)	13,650	0	△ 0.1	13,612	△ 0.3	37.6	—	54.1	—	7,612
13期(2020年7月22日)	14,198	0	4.0	14,048	3.2	38.1	—	54.7	—	8,343
14期(2021年7月26日)	15,968	0	12.5	15,716	11.9	36.9	—	54.8	—	9,983
15期(2022年7月22日)	16,184	0	1.4	16,000	1.8	37.7	—	55.3	—	11,001
16期(2023年7月24日)	17,162	0	6.0	17,086	6.8	37.8	—	55.1	—	12,200

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 当ファンドの参考指数は、東証株価指数(TOPIX)20%、NOMURA-BPI総合40%、MSCI Kokuai Index(MSCIコクサイインデックス)(円換算ベース)20%およびFTSE世界国債インデックス(除く日本・円ベース)20%で組み合わせたバランス型運用部分の合成指数と、安定運用部分の無担保コール翌日物レートに弊社で算出した配分比率を乗じた合成指数です。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数)		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
	円	騰 落 率	合 成 指 数	騰 落 率				
(期 首) 2022年7月22日	16,184	—	16,000	—	37.7	—	55.3	—
7 月 末	16,198	0.1	15,968	△0.2	37.4	—	55.2	—
8 月 末	16,146	△0.2	15,980	△0.1	37.3	—	54.9	—
9 月 末	15,651	△3.3	15,521	△3.0	36.0	—	54.9	—
10 月 末	16,191	0.0	16,033	0.2	37.6	—	53.8	—
11 月 末	16,139	△0.3	15,913	△0.5	37.7	—	54.6	—
12 月 末	15,577	△3.8	15,377	△3.9	36.8	—	54.3	—
2023年1 月 末	15,877	△1.9	15,627	△2.3	37.5	—	54.7	—
2 月 末	16,080	△0.6	15,847	△1.0	37.8	—	54.4	—
3 月 末	16,209	0.2	15,961	△0.2	37.2	—	55.0	—
4 月 末	16,370	1.1	16,173	1.1	37.4	—	55.2	—
5 月 末	16,649	2.9	16,496	3.1	37.2	—	56.1	—
6 月 末	17,194	6.2	17,105	6.9	37.7	—	55.1	—
(期 末) 2023年7月24日	17,162	6.0	17,086	6.8	37.8	—	55.1	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」、「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第16期：2022年7月23日～2023年7月24日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第16期首	16,184円
第16期末	17,162円
既払分配金	0円
騰落率	6.0%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ6.0%の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因**上昇要因**

当期間は、主要先進国の経済がコロナ禍での停滞から立ち直りをみせるなか、賃金上昇などを背景としたインフレ圧力への高まりに直面し、各国金融政策は金融引き締め姿勢を強めました。こうしたなか、2023年3月には米金融システムにほころびが生じたものの、欧米景気は雇用の力強い回復などを背景に底堅さをみせました。また、海外と一線を画した日銀の金融緩和姿勢は円安傾向を強めることとなり、あわせて基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

日銀は金融緩和姿勢を堅持したものの、その副作用から国内金融市場の機能不全を恐れる声も高まりました。日銀はこうした声に呼応しイールド・カーブ・コントロール政策における10年国債利回りの変動幅を拡大したことから、長期金利は上昇し基準価額の下落要因となりました。

基準価額の主な変動要因の内訳は以下の通りです。

内訳

三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド	3.5%程度
外国株式マザーファンド	2.9%程度
日本債券マザーファンド	△0.2%程度
三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド	0.6%程度
マネー・マーケット・マザーファンド	0.0%程度
その他（信託報酬等）	△0.8%程度

第16期：2022年7月23日～2023年7月24日

投資環境について

▶ 国内株式市況

国内株式市況は上昇しました。

期間の初めから2022年11月下旬にかけては、米国の金利上昇や景気先行きへの懸念などから下落した局面もあったものの、商品市況が落ち着いたことや堅調な国内企業業績などを背景に上昇しました。12月上旬から12月下旬にかけては、日銀の金融政策修正を受けて国内金利が上昇したことや米国の景気先行きへの懸念などから下落しました。

2023年1月上旬から期間末にかけては、米国のインフレや金融政策を巡る過度な懸念が後退したことや、日本企業の企業価値向上に向けた動きへの期待などを背景に上昇しました。

▶ 外国株式市況

外国株式市況は上昇しました。

期間の初めから2022年10月前半にかけては、米国などのインフレ長期化を受けて米連邦準備制度理事会（FRB）の大幅利上げへの懸念が高まったことや、景気減速懸念などを背景に下落しました。

10月後半以降は、堅調な企業決算が発表されたことや、インフレ鈍化を示唆する一部の米経済指標などを受けて、FRBによる利上げペースの鈍化期待が高まったことなどから上昇し、当期間を通じて

みると上昇となりました。

▶ 国内債券市況

国内金利は上昇しました。

国内金利は、日銀が2022年12月の金融政策決定会合において長期金利の許容変動幅を拡大したことや、その後も政策修正懸念が台頭したことなどから上昇しました。

▶ 外国債券市況

米独長期金利は上昇しました。

米独長期金利は米欧で積極的な利上げが行われたことや米国中心に底堅い労働市場や米欧のインフレ率の高さを背景に、期間の初めから2023年2月にかけて概ね上昇しました。その後、米欧の一部金融機関を巡る金融システム不安の広がりを受け、一時米独長期金利は低下する場面もありましたが、FRB高官がインフレ抑制に向けて金融引き締め継続の姿勢を示したことや、欧州中央銀行（ECB）会合において積極的な金融引き締め継続を示唆したことなどから、米独長期金利は上昇しました。

結果、期間を通じて見ると、米独長期金利は上昇しました。

▶ **為替市況**

米ドル、ユーロは対円で上昇しました。

日銀が緩和的な金融政策を維持する中、米独長期金利の上昇により本邦との金利差が拡大したことなどから、米ドル、ユーロは対円で上昇しました。

▶ **国内短期金融市場**

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

当期間の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.073%となりました。

▶ **当該投資信託のポートフォリオについて**▶ **三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド**

内外の株式や債券を実質的な主要投資対象とし、わが国の短期金利水準の変動に応じて投資配分比率を変動させることにより、安定した収益の確保と着実な値上がり益の獲得をめざした運用を行いました。

主として、各マザーファンドへの投資を通じて国内株式、国内債券、外国株式、外国債券に分散投資を行うバランス型運用部分とマネー・マーケット・マザーファンドへの投資を通じてわが国の短期公社債に投資を行う安定運用部分に、それぞれ投資を行いました。

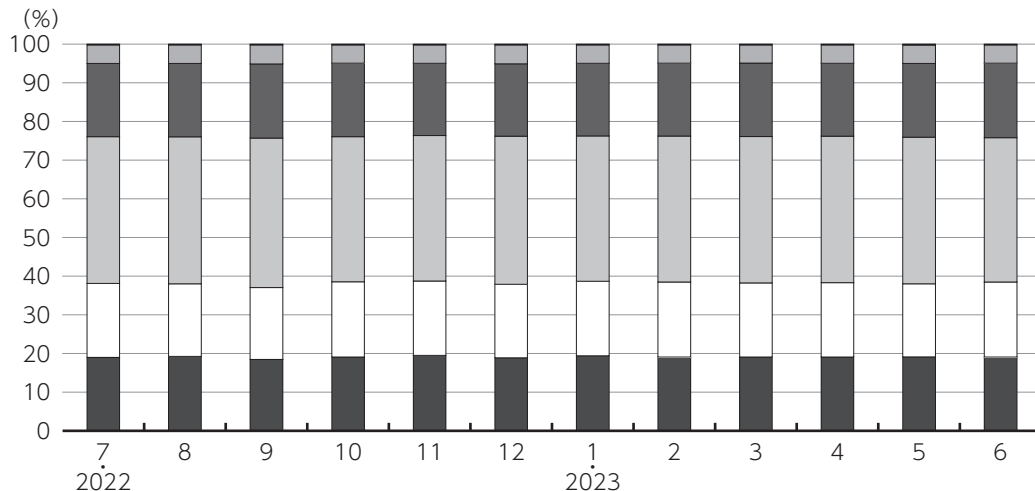
資産配分比率は、国内の短期金利水準に応じて、当期間は国内短期金利が低水準であったことから安定運用部分に5%程度配分しました。残りをバランス型運用部分に配分し、その内訳は従前通り基本の配分比率としました。

バランス型運用部分における各資産への配分比率は、以下の比率とすることを基本とします。

三菱UFJ日本株アクティブマザーファンド	20%程度
外国株式マザーファンド	20%程度
日本債券マザーファンド	40%程度
三菱UFJ海外債券アクティブマザーファンド	20%程度

(ご参考)

■資産別組入比率の推移 (月末ベース)



■ 三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド □ 外国株式マザーファンド ■ 日本債券マザーファンド
 ■ 三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド ■ マネー・マーケット・マザーファンド ■ コールその他資産

▶ 三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド

個別銘柄の選別においては競争力の有無や収益向上への取り組みなどを重視し、中長期的な成長期待が持てる企業を中心に投資を行いました。

組入銘柄数は概ね77～84銘柄程度で推移させました。ファンダメンタルズの変化や新規投資候補銘柄との相対比較等を勘案し、適宜銘柄入替を行いました。当期間では、「スズキ」、「AGC」など

13銘柄を新規に組み入れました。一方、「トヨタ自動車」や「富士フイルムホールディングス」など17銘柄を全株売却しました。

▶ 外国株式マザーファンド

中長期的にベンチマークを上回る投資成果をめざして運用を行いました。

配当利回りが高いだけでなく、安定継続的に配当を維持できる銘柄や質が高く安定成長が見込まれる銘柄を中心に組み

入れを行いました。外国株式の組入比率については、期間を通じて高位を維持し、組入銘柄数については、期間中において銘柄入替を実施したものの、期間の初め、期間末ともに48銘柄としました。

銘柄入替については、今後の成長性に対する確信度が低下したと判断した銘柄などを売却し、成長性、キャッシュ創出力などが評価できる銘柄を購入しました。

▶日本債券マザーファンド

ベンチマークを上回る投資成果をめざして運用を行いました。

ファンド全体のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）については中立を基本に調整しました。年限別構成については、中期ゾーンのアンダーウェイト・超長期ゾーンのオーバーウェイトを基本に調整しました。

債券種別構成については、日銀による社債買入オペや投資家の資金余剰感を背景とした需給関係から、一般債のスプレッド（国債に対する金利差）は横ばい圏で推移すると判断し、相対的にスプレッド妙味のある事業債、円建外債およびABSのオーバーウェイト、スプレッド妙味の乏しい地方債および政府保証債のアンダーウェイトを維持しました。

▶三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド

わが国を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とし、ベンチマークを中長期的に上回る投資成果をめざして運用を行いました。期間を通じて債券の組入比率は高位を維持しました。

債券デュレーションは、金融政策の織り込み具合等を注視し、米国・欧州ともにベンチマーク比機動的にコントロールしました。

欧州においては、欧州中央銀行（ECB）の金融政策などを背景に国別配分をコントロールしました。

期間の初めから2022年11月までは、イタリア・フランス・ドイツなどをベンチマーク比中立からアンダーウェイトとしました。12月から2023年2月下旬までは、イタリアを同アンダーウェイトで維持しつつ、スペインやフランスを同中立からオーバーウェイトでコントロールしました。その後、期間の終わりにかけては、ドイツやフランスを同中立からアンダーウェイト、イタリアとスペインをオーバーウェイトでコントロールしました。

カントリーアロケーション戦略（通貨配分）では、景気の相対感等に着目し通貨配分をコントロールしました。

米ドルとユーロについては、期間の初めから2022年11月までは、米ドルをベン

チマーク比中立からオーバーウェイト、ユーロを同アンダーウェイトとしたものの、その後は期間の終わりにかけて、米ドルを概ね同中立からアンダーウェイト、ユーロを同中立からオーバーウェイトとしました。それ以外の通貨は、期間を通じて、メキシコペソを同オーバーウェイトで維持しつつ、シンガポールドル、マレーシアリングgit、ノルウェークロー

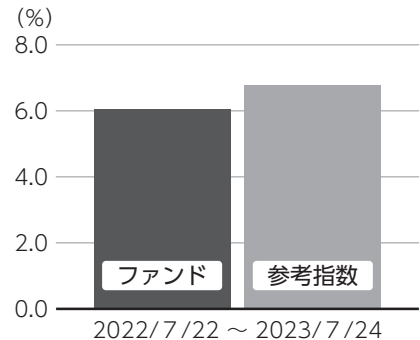
ネ、ポーランドズロチを同中立からオーバーウェイトでコントロールしました。なお、カナダドル、豪ドル、英ポンド、中国元は機動的にコントロールしました。

- ▶ **マネー・マーケット・マザーファンド**
コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保をめざした運用を行いました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。参考指数は合成指数です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第16期 2022年7月23日～2023年7月24日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	8,135

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ 三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド

引き続き、国内の短期金利水準に応じて、安定運用部分とバランス型運用部分の配分比率を変更する方針です。バランス型運用部分における各資産への配分比率は従前通り基本の配分比率を維持する方針です。

▶ 三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド

個別銘柄の選別においては、競争力の有無、収益力向上への取り組み等を重視しています。増配や自社株買い等の株主還元への姿勢も大切な投資観点と考えますが、それ以上に各企業がどのような成長戦略や収益力向上への取り組みを行っているかが重要と考えています。引き続き、マネジメント力、バリュエーション、中

長期的な成長や収益力改善のためにどのような施策に取り組んでいるのかなどを精査し、競争力があり、中長期的な成長期待が持てる企業を中心に銘柄選別を行っていく方針です。

当面の国内株式市況は、米国の金融政策や景況感、欧米を中心とした金融不安等に左右され変動性が一時的に高まる局面も想定されますが、日本企業の企業価値向上に向けた動きが注目され底堅い展開を想定しています。米国のインフレ動向とそれに対応した金融政策の方向性については、金融市場に与える影響が大きいいため慎重に動向を見極める必要があると考えているものの、今後高インフレの収束などを背景に、利上げの打ち止めが視野に入ってくると思われることは国内株式市況にとっては好材料と考えます。また、国内に関しては東証による企業価値向上の要請に対応する企業の動きが注目されます。さらに、諸外国と比べ遅れていたコロナ禍からの正常化による消費・投資の回復などが国内企業業績への好材料となると考えます。なお、変動性が高まる局面では本来の企業価値から大きく乖離したと思われる株価形成がなされることも多く、個別企業の取り組みや競争力などを精査し投資判断をしていく方針です。

▶ 外国株式マザーファンド

株式市況は、人工知能に対する需要などを背景に一部の情報技術関連銘柄が相場をけん引している一方、依然として高い水準のインフレや各国中央銀行による金融政策の動向、並びに景気後退懸念などが重石となると予想しています。

配当利回りが高いだけではなく、安定継続的に配当を維持できる銘柄や質が高く安定成長が見込まれる銘柄を中心に投資していく方針です。健全な財務体質や持続可能なビジネスモデル、積極的な配当政策などの観点から銘柄を選択し、業種、地域にとらわれることなく投資機会を最大限に活かして投資していく方針です。

▶ 日本債券マザーファンド

国内景気は既往の資源高の影響などを受けつつも持ち直しています。輸出や生産は、供給制約の影響の緩和に支えられて横ばい圏内の動きとなっています。また、個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも緩やかに増加しています。しかしながら、海外の経済・物価動向など懸念材料も多く、ウクライナ情勢の展開や資源価格の問題もあり景気先行きの不確実性は依然として高いものと思われます。国内債券相場は、海外金利動向や為替動向など懸念材料はあるものの、本邦金融政策修正観測の後退などから底堅い展開を予想します。国内事業債のスプレッドにつ

いてはもみ合いでの推移になるものと思われる。

以上の見通しの下、デュレーション（平均回収期間や金利感応度）は当面ベンチマーク対比中立を基本にリスク度合いを調整し、国債以外の一般債は事業債および円建外債を中心にベンチマーク対比多めの保有を維持する方針です。

▶ 三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド

金利戦略においては、各国の景気動向に加え、財政政策・金融政策を含む各種政策や市場の内部要因が長期金利へ与える影響を考慮し、デュレーションなどのコントロールを行います。その中で、欧州では各国の財政状況や政策対応などを重

視した銘柄選別に注力します。また、カントリーアロケーション戦略においては、各国のファンダメンタルズ状況や投資家のリスク選好度を重視し、環境見通しの変化に対応して調整を行う方針です。債券の組入比率は高位を維持し、信用力の高い国債中心の組み入れを維持する方針です。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド

今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2022年7月23日～2023年7月24日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	108	0.663	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(49)	(0.304)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(49)	(0.304)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(9)	(0.055)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.013	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(2)	(0.013)	
(c) 有価証券取引税	1	0.005	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(1)	(0.005)	
(d) その他費用	3	0.016	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.012)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	114	0.697	

期中の平均基準価額は、16,219円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

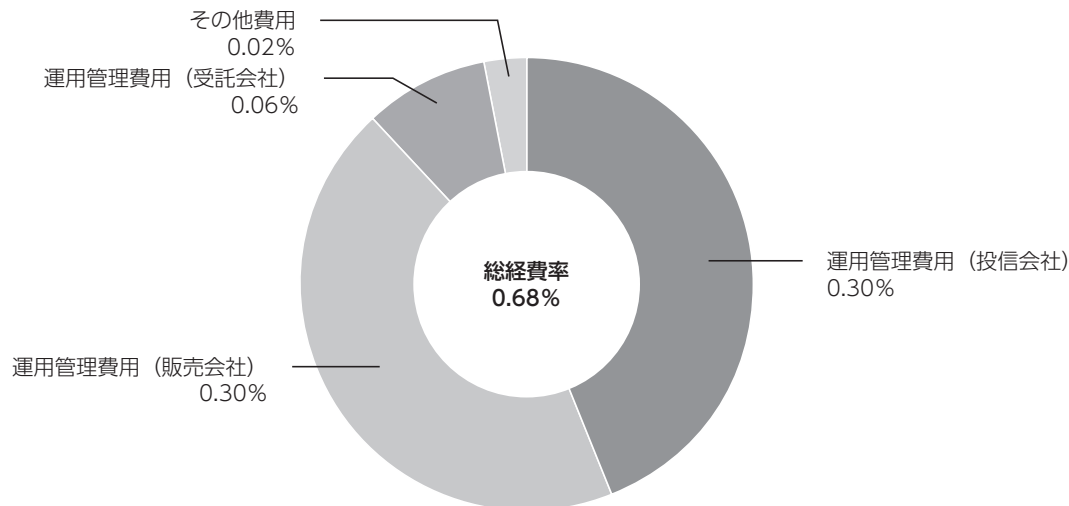
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.68%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年7月23日～2023年7月24日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド	36,594	109,800	91,146	293,227
三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド	60,243	201,682	13,094	45,548
日本債券マザーファンド	349,002	502,287	28,942	41,618
外国株式マザーファンド	40,151	147,007	55,406	217,531
マネー・マーケット・マザーファンド	66,843	68,055	10,368	10,556

○株式売買比率

(2022年7月23日～2023年7月24日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	三菱UFJ 日本株 アクティブマザーファンド	外国株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	26,080,042千円	16,061,938千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	40,038,792千円	15,654,083千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.65	1.02

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2022年7月23日～2023年7月24日)

利害関係人との取引状況

<三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド>

該当事項はございません。

<三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	
株式	百万円 12,471	百万円 3,140	% 25.2	百万円 13,609	百万円 2,395	% 17.6

平均保有割合 5.3%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

<三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
為替直物取引	百万円 32,070	百万円 13,128	40.9	百万円 33,741	百万円 17,327	51.4

平均保有割合 4.5%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

<日本債券マザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
公社債	百万円 4,469	百万円 806	18.0	百万円 3,616	百万円 976	27.0

平均保有割合 48.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

<外国株式マザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
為替直物取引	百万円 7,138	百万円 204	2.9	百万円 7,188	百万円 266	3.7

平均保有割合 13.5%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

<マネー・マーケット・マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人の発行する有価証券等

<三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド>

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 末 保 有 額
株式	百万円 -	百万円 88	百万円 1,705

<日本債券マザーファンド>

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 末 保 有 額
公社債	百万円 99	百万円 -	百万円 199

<マネー・マーケット・マザーファンド>

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 末 保 有 額
その他有価証券	百万円 1,999	百万円 2,000	百万円 -

利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

<日本債券マザーファンド>

種 類	買 付 額
公社債	百万円 100

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	1,455千円
うち利害関係人への支払額 (B)	225千円
(B) / (A)	15.5%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三菱UFJフィナンシャル・グループ、三菱HCキャピタル、アコム、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2023年7月24日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド	722,842	668,290	2,317,231
三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド	601,303	648,452	2,332,614
日本債券マザーファンド	2,849,372	3,169,432	4,578,879
外国株式マザーファンド	566,058	550,803	2,370,546
マネー・マーケット・マザーファンド	511,486	567,961	578,241

○投資信託財産の構成

(2023年7月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド	2,317,231	18.9
三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド	2,332,614	19.0
日本債券マザーファンド	4,578,879	37.4
外国株式マザーファンド	2,370,546	19.3
マネー・マーケット・マザーファンド	578,241	4.7
コール・ローン等、その他	80,432	0.7
投資信託財産総額	12,257,943	100.0

(注) 三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産 (48,495,642千円) の投資信託財産総額 (48,974,512千円) に対する比率は99.0%です。

(注) 外国株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産 (17,924,856千円) の投資信託財産総額 (18,138,846千円) に対する比率は98.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=141.83円	1 カナダドル=107.27円	1 メキシコペソ=8.3512円	1 ユーロ=157.84円
1 イギリスポンド=182.44円	1 スイスフラン=163.72円	1 スウェーデンクローネ=13.64円	1 ノルウェークローネ=14.07円
1 デンマーククローネ=21.19円	1 ポーランドズロチ=35.3637円	1 オーストラリアドル=95.42円	1 ニューージーランドドル=87.57円
1 シンガポールドル=106.60円	1 マレーシアリンギット=31.0347円	100インドネシアルピア=0.95円	1 ニュー台湾ドル=4.535円
1 中国元=19.7227円	1 イスラエルシェケル=39.0429円		

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年7月24日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	12,257,943,440
コール・ローン等	72,144,569
三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド(評価額)	2,317,231,994
三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド(評価額)	2,332,614,645
日本債券マザーファンド(評価額)	4,578,879,661
外国株式マザーファンド(評価額)	2,370,546,691
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	578,241,821
未収入金	8,284,059
(B) 負債	57,043,325
未払解約金	18,344,039
未払信託報酬	38,468,364
未払利息	177
その他未払費用	230,745
(C) 純資産総額(A-B)	12,200,900,115
元本	7,109,159,853
次期繰越損益金	5,091,740,262
(D) 受益権総口数	7,109,159,853口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,162円

<注記事項>

- ①期首元本額 6,797,646,051円
 期中追加設定元本額 1,185,971,550円
 期中一部解約元本額 874,457,748円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.7162円です。

②分配金の計算過程

項目	2022年7月23日～ 2023年7月24日
費用控除後の配当等収益額	163,021,372円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	526,924,633円
収益調整金額	3,407,869,094円
分配準備積立金額	1,686,006,715円
当ファンドの分配対象収益額	5,783,821,814円
1万口当たり収益分配対象額	8,135円
1万口当たり分配金額	—円
収益分配金金額	—円

- ③「外国株式マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、親投資信託の純資産総額に親投資信託の受益権総口数に占める当投資信託に属する受益権口数の割合に乗じて得た額に対し年10,000分の45の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

○損益の状況 (2022年7月23日～2023年7月24日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	△ 22,474
受取利息	331
支払利息	△ 22,805
(B) 有価証券売買損益	765,708,143
売買益	807,974,708
売買損	△ 42,266,565
(C) 信託報酬等	△ 75,739,664
(D) 当期損益金(A+B+C)	689,946,005
(E) 前期繰越損益金	1,686,006,715
(F) 追加信託差損益金	2,715,787,542
(配当等相当額)	(3,406,040,236)
(売買損益相当額)	(△ 690,252,694)
(G) 計(D+E+F)	5,091,740,262
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	5,091,740,262
追加信託差損益金	2,715,787,542
(配当等相当額)	(3,407,869,094)
(売買損益相当額)	(△ 692,081,552)
分配準備積立金	2,375,952,720

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

【お知らせ】

三菱UFJ国際投信株式会社は、2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更します。

三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド

《第22期》決算日2023年6月20日

[計算期間：2022年6月21日～2023年6月20日]

「三菱UFJ 日本株アクティブマザーファンド」は、6月20日に第22期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第22期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の株式を主要投資対象とし、長期的に安定した信託財産の成長をはかることを目標として運用を行います。ボトムアップ・アプローチを基本としたアクティブ運用により長期的にTOPIXの動きを上回る運用成果をめざします。株式への投資にあたっては、運用チームによる会社訪問も含め、自ら徹底的に企業分析を行います。銘柄選定は、主に以下の観点で行います。 ①オーナーの持ち分としての株主価値の見極め。 ②株主価値を分析する尺度としては、主に企業が事業から継続してキャッシュを生み出す能力を評価。 ③株主価値と株価との関係がバーゲン（株主価値>株価）と判断される銘柄に投資。
主要運用対象	わが国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		東証株価指数 (TOPIX)		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	期騰落	期中率	期騰落	期中率			
18期(2019年6月20日)	円	%		%	%	%	百万円
	19,301	△12.3	1,559.90	△11.0	98.4	—	32,406
19期(2020年6月22日)	21,875	13.3	1,579.09	1.2	98.5	—	33,357
20期(2021年6月21日)	29,472	34.7	1,899.45	20.3	98.3	—	39,997
21期(2022年6月20日)	27,076	△8.1	1,818.94	△4.2	97.9	—	36,831
22期(2023年6月20日)	35,230	30.1	2,283.85	25.6	98.5	—	45,797

(注) 東証株価指数 (TOPIX) とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		東 証 株 価 指 数 (TOPIX)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2022年6月20日	円	%	(TOPIX)	%	%	%
	27,076	—	1,818.94	—	97.9	—
6月末	27,942	3.2	1,870.82	2.9	97.7	—
7月末	29,109	7.5	1,940.31	6.7	98.5	—
8月末	29,685	9.6	1,963.16	7.9	98.5	—
9月末	27,508	1.6	1,835.94	0.9	97.0	—
10月末	29,457	8.8	1,929.43	6.1	97.4	—
11月末	30,472	12.5	1,985.57	9.2	98.1	—
12月末	28,671	5.9	1,891.71	4.0	97.6	—
2023年1月末	30,299	11.9	1,975.27	8.6	97.6	—
2月末	30,397	12.3	1,993.28	9.6	97.9	—
3月末	30,882	14.1	2,003.50	10.1	97.2	—
4月末	31,199	15.2	2,057.48	13.1	97.7	—
5月末	32,785	21.1	2,130.63	17.1	98.0	—
(期 末) 2023年6月20日	35,230	30.1	2,283.85	25.6	98.5	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

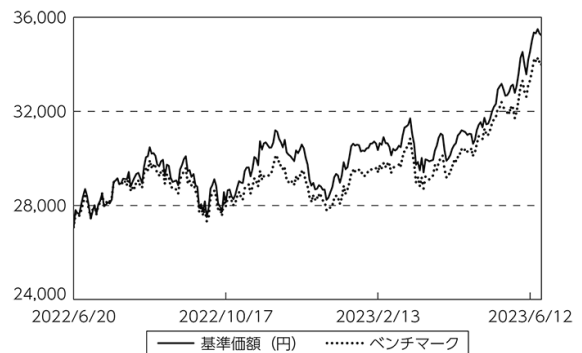
◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ30.1%の上昇となりました。

◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(25.6%)を4.5%上回りました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

● 基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

- ・米国のインフレや金融政策を巡る過度な懸念が後退したことや、中国経済の回復期待、日本企業の企業価値向上に向けた動きへの期待などを背景に国内株式市況が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

- ・日銀の金融政策修正を受けて国内金利が上昇したことや、米国の景気先行きへの懸念などから国内株式市況が一時的に下落したことが、基準価額の一時的な下落要因となりました。

銘柄要因

上位5銘柄・・・「三井物産」、「第一三共」、「イビデン」、「三菱UFJフィナンシャル・グループ」、「ソニーグループ」

下位5銘柄・・・「ウエストホールディングス」、「セプテーニ・ホールディングス」、「豊田合成」、「NECネットエスアイ」、「富士フィルムホールディングス」

● 投資環境について

◎ 国内株式市況

- ・国内株式市況は上昇しました。
- ・期間の初めから2022年11月下旬にかけては、米国の金利上昇や景気先行きへの懸念などから下落した局面もあったものの、商品市況が落ち着いたことや堅調な国内企業業績などを背景に上昇しました。
- ・12月上旬から下旬にかけては、日銀の金融政策修正を受けて国内金利が上昇したことや米国の景気先行きへの懸念などから下落しました。
- ・2023年1月上旬から期間末にかけては、米国のインフレや金融政策を巡る過度な懸念が後退したことや、中国経済の回復期待、日本企業の企業価値向上に向けた動きへの期待などを背景に上昇しました。

● 当該投資信託のポートフォリオについて

- ・個別銘柄の選別においては競争力の有無や収益力向上への取り組みなどを重視し、中長期的な成長期待が持てる企業を中心に投資を行いました。
- ・組入銘柄数は概ね78～84銘柄程度で推移させました。ファンダメンタルズの変化や新規投資候補銘柄との相対比較等を勘案し、適宜銘柄入替を行いました。前期間当期間末対比では、インド市場での新車販売増加による業績拡大を期待した「スズキ」やグローバルでの空調市場の拡大に期待した「ダイキン工業」など15銘柄を新規に組み入れました。一方、より投資魅力が高い銘柄への入替対象とした「トヨタ自動車」や「富士フィルムホールディングス」など16銘柄を全株売却しました。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異について プラス要因

業種配分要因：電気機器をベンチマークに対してオーバーウェイト、その他製品をベンチマークに対してアンダーウェイトとしていたことがプラスに寄与しました。

銘柄選択要因：「イビデン」、「そーせいグループ」をベンチマークに対してオーバーウェイトとしていたことがプラスに寄与しました。

マイナス要因

業種配分要因：ガラス・土石製品をベンチマークに対してオーバーウェイト、鉄鋼をベンチマークに対してアンダーウェイトとしていたことがマイナスに影響しました。

銘柄選択要因：「ウエストホールディングス」、「コナミグループ」をベンチマークに対してオーバーウェイトとしていたことがマイナスに影響しました。

○今後の運用方針

- ・個別銘柄の選別においては、競争力の有無、収益力向上への取り組み等を重視しています。増配や自社株買い等の株主還元への姿勢も大切な投資観点と考えますが、それ以上に各企業がどのような成長戦略や収益力向上への取り組みを行っているかが重要と考えています。引き続き、マネジメント力、バリュエーション、中長期的な成長や収益力改善のためにどのような施策に取り組んでいるのかなどを精査し、競争力があり、中長期的な成長期待が持てる企業を中心に銘柄選別を行っていく方針です。
- ・当面の株式市況は、米国の金融政策や景況感、欧米を中心とした金融不安等に左右され変動性が一時的に高まる局面も想定されますが、日本企業の企業価値向上に向けた動きが注目され底堅い展開を想定しています。米国のインフレ動向とそれに対応した金融政策の方向性については、金融市場に与える影響が大きいため慎重に動向を見極める必要があると考えているものの、

今後高インフレの収束や景況感の悪化懸念などを背景に、利上げの打ち止めが視野に入ってくると思われることは株式市況にとっては好材料と考えます。また、国内に関しては東証による企業価値向上の要請に対応する企業の動きが注目されます。さらに、諸外国に比べ遅れていたコロナ禍からの正常化による消費・投資の回復などが国内企業業績への好材料となると考えます。欧米を中心とした金融不安が完全には払しょくされないことを背景に、株式市況の調整局面も想定されますが、こうした局面においては本来の企業価値から大きく乖離したと思われる株価形成がなされることも多く、徹底したリサーチにより大きな超過収益をもたらす企業を発掘する有望な機会であると捉えています。

- ・製品・サービスの競争力、収益力向上への取り組み等を重視し、中長期的な業績成長期待が持てる企業を中心に銘柄選別を行っていく方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2022年6月21日～2023年6月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 14 (14)	% 0.046 (0.046)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
合 計	14	0.046	
期中の平均基準価額は、30,122円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年6月21日～2023年6月20日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国	上場	千株	千円	千株	千円
内		3,291 (447)	12,169,421 (-)	4,688	13,292,445

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2022年6月21日～2023年6月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	25,461,866千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	39,430,910千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.64

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2022年6月21日～2023年6月20日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	百万円 12,169	百万円 2,770	% 22.8	百万円 13,292	百万円 2,283	% 17.2

利害関係人の発行する有価証券等

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 末 保 有 額
株式	百万円 —	百万円 88	百万円 1,592

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	18,818千円
うち利害関係人への支払額 (B)	3,891千円
(B) / (A)	20.7%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三菱UFJフィナンシャル・グループ、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2023年6月20日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
建設業 (0.7%)				
ウエストホールディングス	140	130	326,170	
食料品 (2.5%)				
ヤクルト本社	26	35	320,495	
サントリー食品インターナショナル	121.6	64	341,120	
味の素	—	83.8	474,475	
化学 (10.6%)				
レゾナック・ホールディングス	279.1	298.1	679,966	
東ソー	—	169.6	296,800	
三菱瓦斯化学	310	310	640,460	
J S R	130	195	654,030	
トリケミカル研究所	145.7	158	429,602	
日本ペイントホールディングス	195	414.3	499,852	
富士フイルムホールディングス	95	—	—	
資生堂	117	66.7	460,496	
デクセラアルズ	44	150.9	464,621	
ニフコ	55	55	214,170	
ユニ・チャーム	42.9	85.3	456,184	
医薬品 (6.2%)				
日本新薬	37	—	—	
エーザイ	—	32.4	312,012	
そーせいグループ	211.9	196.8	562,257	
第一三共	439.4	407.1	1,928,432	
ガラス・土石製品 (3.4%)				
日東紡績	124.1	193.7	510,980	
AGC	—	101.2	528,668	
東海カーボン	190	—	—	
MARUWA	—	22.4	472,640	
機械 (4.5%)				
N I T T O K U	51	51	130,611	
SMC	8.8	2.8	228,088	
ダイキン工業	—	19.5	572,227	
ダイフク	15.3	—	—	
CKD	239.2	—	—	
グローリー	—	113.4	316,896	

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
THK	129.4	129.4	387,035	
I H I	50	99	385,110	
電気機器 (25.7%)				
イビデン	128	125	1,018,375	
日立製作所	144	117.5	1,027,772	
富士電機	110	110	697,070	
安川電機	74.5	—	—	
ニデック	52.8	73.5	583,663	
ルネサスエレクトロニクス	440	—	—	
パナソニック ホールディングス	—	229.7	379,349	
ソニーグループ	127.3	140.3	1,927,020	
TDK	97.7	81.7	459,480	
メイコー	—	60	165,600	
アドバンテスト	66	26.6	522,690	
キーエンス	10.4	14.8	1,033,336	
シスメックス	44	47	465,488	
レーザーテック	13	18.2	391,755	
スタンレー電気	—	146	424,933	
ローム	—	37.5	509,625	
新光電気工業	91	46.8	267,228	
S C R E E Nホールディングス	42.9	20.1	321,801	
東京エレクトロン	21	69.6	1,392,000	
輸送用機器 (6.3%)				
豊田自動織機	50	—	—	
デンソー	114.7	108	1,014,768	
川崎重工業	160.5	80.5	284,165	
いすゞ自動車	245	298.2	520,508	
トヨタ自動車	558	—	—	
スズキ	—	200.1	1,000,900	
S U B A R U	180	—	—	
精密機器 (2.7%)				
テルモ	106	—	—	
オリンパス	220	—	—	
HOYA	12.8	27.1	468,830	
朝日インテック	250	265	746,107	

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
陸運業 (2.4%)				
東日本旅客鉄道	27.3	27.3	211,520	
東海旅客鉄道	13.3	32.3	568,157	
S Gホールディングス	65.4	144.4	298,041	
情報・通信業 (10.2%)				
NECネットエスアイ	242	—	—	
GMOペイメントゲートウェイ	31	31	369,365	
インターネットイニシアティブ	85	222.2	613,160	
Appier Group	—	86	169,248	
ビジョナル	—	45.1	385,154	
Sansan	182.2	443.6	841,952	
エヌ・ティ・ティ・データ	201.9	109.5	227,760	
スクウェア・エニックス・ホールディングス	74.5	74.5	561,730	
コナミグループ	121	115	867,675	
ソフトバンクグループ	120	81.1	542,640	
卸売業 (7.0%)				
伊藤忠商事	97.7	128.7	735,134	
丸紅	—	109.9	275,354	
三井物産	400	375	2,155,500	
小売業 (5.4%)				
ネクステージ	240	220	615,560	
FOOD & LIFE COMPANIE	101	180.6	555,525	
パン・パシフィック・インターナショナルホ	159.6	202.6	505,689	

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千株	千円
丸井グループ				
丸井グループ	82	82	194,832	
ファーストリテイリング	10	15.8	584,916	
銀行業 (5.5%)				
三菱UFJフィナンシャル・グループ	1,740	1,620	1,592,460	
三井住友フィナンシャルグループ	200	153.5	899,049	
ふくおかフィナンシャルグループ	163.1	—	—	
証券・商品先物取引業 (0.3%)				
SBIホールディングス	115.9	51.5	141,161	
保険業 (2.6%)				
第一生命ホールディングス	250	149.4	390,158	
東京海上ホールディングス	90	246.2	794,241	
不動産業 (1.5%)				
三井不動産	229.6	234.6	665,912	
サービス業 (2.5%)				
エムスリー	22.3	100	329,300	
セブテーニ・ホールディングス	505	—	—	
サイバーエージェント	130.6	—	—	
ペイカレント・コンサルティング	12.6	111.6	618,375	
リログループ	90	90	182,610	
合 計	株数・金額	12,360	11,411	45,108,055
	銘柄数<比率>	79	78	<98.5%>

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。
(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2023年6月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 45,108,055	% 97.8
コール・ローン等、その他	1,019,365	2.2
投資信託財産総額	46,127,420	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年6月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	46,127,420,139
コール・ローン等	533,705,851
株式(評価額)	45,108,055,350
未収入金	270,097,752
未収配当金	215,561,186
(B) 負債	329,922,619
未払解約金	329,921,329
未払利息	1,290
(C) 純資産総額(A-B)	45,797,497,520
元本	12,999,470,574
次期繰越損益金	32,798,026,946
(D) 受益権総口数	12,999,470,574口
1万口当たり基準価額(C/D)	35,230円

＜注記事項＞

- ①期首元本額 13,602,998,450円
 期中追加設定元本額 771,459,274円
 期中一部解約元本額 1,374,987,150円
 また、1口当たり純資産額は、期末35,230円です。

②期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）

三菱UFJ 日本株アクティブオープン（確定拠出年金）	8,365,946,894円
三菱UFJ 日本株アクティブオープン	2,571,186,847円
三菱UFJ バランスインカムオープン（毎月決算型）	1,285,144,419円
三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	667,847,682円
三菱UFJ 日本株アクティブファンドVA（適格機関投資家限定）	109,344,732円
合計	12,999,470,574円

【お 知 ら せ】

三菱UFJ 国際投信株式会社は、2023年10月1日より商号を三菱UFJ アセットマネジメント株式会社に変更します。

○損益の状況 (2022年6月21日～2023年6月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	764,802,632
受取配当金	765,062,186
受取利息	4,855
その他収益金	3,012
支払利息	△ 267,421
(B) 有価証券売買損益	10,184,738,393
売買益	10,903,676,695
売買損	△ 718,938,302
(C) 当期損益金(A+B)	10,949,541,025
(D) 前期繰越損益金	23,228,319,405
(E) 追加信託差損益金	1,525,456,054
(F) 解約差損益金	△ 2,905,289,538
(G) 計(C+D+E+F)	32,798,026,946
次期繰越損益金(G)	32,798,026,946

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

外国株式マザーファンド

《第25期》決算日2023年7月24日

[計算期間：2022年7月23日～2023年7月24日]

「外国株式マザーファンド」は、7月24日に第25期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第25期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	日本を除く世界主要国の株式を主要投資対象とし、中長期的に信託財産の成長を目標として運用を行います。運用にあたってはMSCI Kokusai Index (MSCIコクサイインデックス) (円換算ベース) をベンチマークとし、中長期的に同指数を上回る投資成果をめざします。株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。運用指図に関する権限は、ブラックロック・インベストメント・マネジメント (UK) リミテッドに委託します。
主 要 運 用 対 象	外国の株式を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		MSCI Kokusai Index (MSCIコクサイインデックス)		株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	純 資 産 額
	円	騰 落 中 率	(円換算ベース)	騰 落 中 率			
21期(2019年7月22日)	24,578	4.1%	241,418.44	0.6%	98.4%	—	百万円 9,492
22期(2020年7月22日)	24,646	0.3%	253,429.56	5.0%	98.8%	—	10,409
23期(2021年7月26日)	32,888	33.4%	350,044.03	38.1%	96.2%	—	13,401
24期(2022年7月22日)	37,292	13.4%	378,394.22	8.1%	98.6%	—	15,648
25期(2023年7月24日)	43,038	15.4%	444,540.18	17.5%	97.9%	—	18,051

(注) MSCI Kokusai Index (MSCIコクサイインデックス) とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCI Kokusai Index (円換算ベース) は、MSCI Kokusai Index (米ドルベース) をもとに委託会社が計算したものです。また、MSCI Kokusai Indexに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		M S C I K o k u s a i I n d e x (MSCIコクサイインデックス)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	騰 落 率	(円換算ベース)	騰 落 率	(円換算ベース)		
(期 首) 2022年 7 月 22 日	円	%		%	%	%
	37,292	—	378,394.22	—	98.6	—
7 月 末	37,317	0.1	377,151.11	△ 0.3	98.0	—
8 月 末	36,642	△ 1.7	379,139.60	0.2	97.6	—
9 月 末	34,684	△ 7.0	359,558.74	△ 5.0	97.2	—
10 月 末	37,843	1.5	394,194.87	4.2	97.6	—
11 月 末	37,573	0.8	382,179.41	1.0	96.9	—
12 月 末	35,953	△ 3.6	358,130.10	△ 5.4	96.6	—
2023年 1 月 末	37,452	0.4	371,573.73	△ 1.8	96.5	—
2 月 末	38,623	3.6	383,694.51	1.4	98.7	—
3 月 末	38,193	2.4	380,905.27	0.7	97.1	—
4 月 末	39,297	5.4	390,505.68	3.2	97.8	—
5 月 末	39,983	7.2	407,711.33	7.7	97.7	—
6 月 末	42,469	13.9	439,385.82	16.1	98.0	—
(期 末) 2023年 7 月 24 日	43,038	15.4	444,540.18	17.5	97.9	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

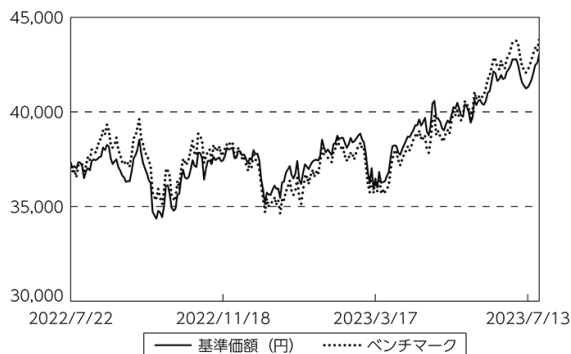
◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ15.4%の上昇となりました。

◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(17.5%)を2.1%下回りました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

米ドルが円に対して上昇したことや個別銘柄(MICROSOFT CORPやINDUSTRIA DE DISEÑO TEXTILなど)の株価が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

●投資環境について

◎外国株式市況

- ・外国株式市況は上昇しました。
- ・期間の初めから2022年10月前半にかけては、米国などのインフレ長期化を受けて米連邦準備制度理事会(FRB)の大幅利上げへの懸念が高まったことや、景気減速懸念などを背景に下落しました。
- ・10月後半以降は、堅調な企業決算が発表されたことや、インフレ鈍化を示唆する一部の米経済指標などを受けて、FRBによる利上げペースの鈍化期待が高まったことなどから上昇し、当期間を通じてみると上昇となりました。

◎為替市況

- ・米ドルは円に対して上昇しました。
- ・米国長期金利上昇による日米金利差拡大などを背景に米ドルは対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・中長期的にベンチマークを上回る投資成果をめざして運用を行いました。
- ・配当利回りが高いだけではなく、安定継続的に配当を維持できる銘柄や質が高く安定成長が見込まれる銘柄を中心に組み入れを行いました。外国株式の組入比率については、期間を通じて高位を維持し、組入銘柄数については、期間中において銘柄入替を実施したものの、期間の初め、期間末ともに48銘柄としました。
- ・銘柄入替については、今後の成長性に対する確信度が低下したと判断した銘柄などを売却し、成長性、キャッシュ創出力などが評価できる銘柄を購入しました。

●当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・個別銘柄選択などがマイナスに影響しベンチマークを下回りました。

○今後の運用方針

- ・株式市況は、人工知能に対する需要などを背景に一部の情報技術関連銘柄が相場をけん引している一方、依然として高い水準のインフレや各国中央銀行による金融政策の動向、並びに景気後退懸念などが重石となると予想しています。
- ・配当利回りが高いだけではなく、安定継続的に配当を維持できる銘柄や質が高く安定成長が見込まれる銘柄を中心に投資していく方針です。健全な財務体質や持続可能なビジネスモデル、積極的な配当政策などの観点から銘柄を選択し、業種、地域にとらわれることなく投資機会を最大限に活かして投資していく方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年7月23日～2023年7月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 8 (8)	% 0.020 (0.020)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	10 (10)	0.025 (0.025)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	16 (16) (0)	0.041 (0.041) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	34	0.086	
期中の平均基準価額は、38,120円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年7月23日～2023年7月24日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外	アメリカ	百株 4,585 (-)	千アメリカドル 43,736 (△ 43)	百株 2,885	千アメリカドル 26,731
	メキシコ	2,649	千メキシコペソ 19,392	-	千メキシコペソ -
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	フランス	87	2,572	408	7,858
	オランダ	1,308	411	-	-
	スペイン	115	244	944	2,763
	ポルトガル	-	-	6,029	2,832
	イギリス	817	2,285	-	-
	イギリス	8,444	千イギリスポンド 2,815	4,677	千イギリスポンド 6,997
	スイス	52 (-)	千スイスフラン 2,564 (△ 7)	17	千スイスフラン 945
国	スウェーデン	313	千スウェーデンクローネ 5,754	1,518	千スウェーデンクローネ 30,038
	デンマーク	-	千デンマーククローネ -	157	千デンマーククローネ 13,430
	シンガポール	138	千シンガポールドル 493	-	千シンガポールドル -
	インドネシア	-	千インドネシアルピア -	8,265	千インドネシアルピア 3,729,306
	台湾	770 (-)	千ニュー台湾ドル 37,703 (△ 1,162)	720	千ニュー台湾ドル 42,879

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2022年7月23日～2023年7月24日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	16,061,938千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	15,654,083千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.02

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2022年7月23日～2023年7月24日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 7,138	百万円 204	% 2.9	百万円 7,188	百万円 266	% 3.7

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2023年7月24日現在)

外国株式

銘柄	株数	当 期		期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
AMERICAN EXPRESS CO	—	119	2,042	289,635		金融サービス
ACCENTURE PLC-CL A	—	104	3,296	467,510		ソフトウェア・サービス
CHEVRON CORP	76	—	—	—		エネルギー
WALT DISNEY CO/THE	—	278	2,430	344,704		メディア・娯楽
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	92	—	—	—		家庭用品・パーソナル用品
INTL FLAVORS & FRAGRANCES	89	297	2,495	353,920		素材
MONDELEZ INTERNATIONAL INC-A	—	508	3,765	533,999		食品・飲料・タバコ
MEDTRONIC PLC	253	286	2,549	361,583		ヘルスケア機器・サービス
M & T BANK CORP	166	141	1,945	275,888		銀行
REPUBLIC SERVICES INC	—	127	1,974	280,047		商業・専門サービス
UNITEDHEALTH GROUP INC	54	66	3,364	477,240		ヘルスケア機器・サービス
UNITED PARCEL SERVICE-CL B	—	142	2,671	378,866		運輸
WILLIAMS COS INC	370	412	1,396	198,014		エネルギー
FIDELITY NATIONAL INFO SERV	302	—	—	—		金融サービス
MICROSOFT CORP	166	169	5,822	825,844		ソフトウェア・サービス
ORACLE CORP	—	264	3,108	440,835		ソフトウェア・サービス
COMCAST CORP-CLASS A	541	—	—	—		メディア・娯楽
INTUIT INC	67	—	—	—		ソフトウェア・サービス
PAYCHEX INC	94	257	3,177	450,620		商業・専門サービス
ASSURANT INC	135	150	1,953	277,133		保険
APPLE INC	—	234	4,500	638,348		テクノロジー・ハードウェアおよび機器
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	300	277	3,221	456,971		金融サービス
TE CONNECTIVITY LTD	180	143	2,023	287,031		テクノロジー・ハードウェアおよび機器
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	227	328	3,204	454,426		食品・飲料・タバコ
VISA INC-CLASS A SHARES	116	—	—	—		金融サービス
ABBVIE INC	182	225	3,244	460,106		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
SYNCHRONY FINANCIAL	674	422	1,466	207,925		金融サービス
CITIZENS FINANCIAL GROUP	628	682	2,119	300,675		銀行
TELUS CORP	1,416	1,686	3,163	448,721		電気通信サービス
BAKER HUGHES CO	655	724	2,565	363,923		エネルギー
OTIS WORLDWIDE CORP	331	305	2,669	378,652		資本財
CARRIER GLOBAL CORP	—	466	2,507	355,690		資本財
小 計	株 数 ・ 金 額	7,125	8,826	72,680	10,308,318	
	銘柄 数 < 比 率 >	23	26	—	< 57.1% >	
(メキシコ)				千メキシコペソ		
WALMART DE MEXICO SAB DE CV	3,413	6,062	41,589	347,322		生活必需品流通・小売り
小 計	株 数 ・ 金 額	3,413	6,062	41,589	347,322	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	1	—	< 1.9% >	
(ユーロ…フランス)				千ユーロ		
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	25	14	1,237	195,346		耐久消費財・アパレル
ATR LIQUIDE SA	131	114	1,846	291,515		素材
SANOFI	381	300	2,959	467,155		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
SCHNEIDER ELECTRIC SE	181	—	—	—		資本財
ESSILORLUXOTTICA	153	131	2,342	369,789		ヘルスケア機器・サービス

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等	
		株数	評 価 額		
		外貨建金額	邦貨換算金額		
(ユーロ…フランス) KERING	百株 37	百株 29	千ユーロ 1,610	千円 254,180	耐久消費財・アパレル
小 計	株数・金額 910	590	9,997	1,577,987	
	銘柄数<比率>	6	5	—	<8.7%>
(ユーロ…オランダ) KONINKLIJKE KPN NV	5,317	6,626	2,178	343,812	電気通信サービス
小 計	株数・金額 5,317	6,626	2,178	343,812	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.9%>
(ユーロ…スペイン) INDUSTRIA DE DISENO TEXTIL	1,158	329	1,147	181,049	一般消費財・サービス流通・小売り
小 計	株数・金額 1,158	329	1,147	181,049	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.0%>
(ユーロ…ポルトガル) EDP-ENERGIAS DE PORTUGAL SA	6,029	—	—	—	公益事業
小 計	株数・金額 6,029	—	—	—	
	銘柄数<比率>	1	—	—	<—%>
(ユーロ…イギリス) RELX PLC SHELL PLC	827 —	827 817	2,491 2,306	393,267 364,067	商業・専門サービス エネルギー
小 計	株数・金額 827	1,644	4,798	757,335	
	銘柄数<比率>	1	2	—	<4.2%>
ユ ー ロ 計	株数・金額 14,243	9,191	18,120	2,860,184	
	銘柄数<比率>	10	9	—	<15.8%>
(イギリス) ASTRAZENECA PLC DIAGEO PLC BAE SYSTEMS PLC RECKITT BENCKISER GROUP PLC PRUDENTIAL PLC TAYLOR WIMPEY PLC FERGUSON PLC	281 640 1,232 457 2,327 10,808 201	263 — — 457 1,868 17,001 125	千イギリスポンド 2,840 — — 2,717 1,949 1,982 1,532	518,177 — — 495,787 355,714 361,657 279,557	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス 食品・飲料・タバコ 資本財 家庭用品・パーソナル用品 保険 耐久消費財・アパレル 資本財
小 計	株数・金額 15,949	19,716	11,022	2,010,893	
	銘柄数<比率>	7	5	—	<11.1%>
(スイス) ZURICH INSURANCE GROUP AG LONZA GROUP AG-REG	51 —	51 34	千スイスフラン 2,185 1,707	357,737 279,527	保険 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小 計	株数・金額 51	86	3,892	637,264	
	銘柄数<比率>	1	2	—	<3.5%>
(スウェーデン) EPIROC AB-A	1,205	—	千スウェーデンクローネ —	—	資本財
小 計	株数・金額 1,205	—	—	—	
	銘柄数<比率>	1	—	—	<—%>
(デンマーク) NOVO NORDISK A/S-B	309	151	千デンマーククローネ 16,802	356,037	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小 計	株数・金額 309	151	16,802	356,037	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<2.0%>
(シンガポール) DBS GROUP HOLDINGS LTD	527	665	千シンガポールドル 2,177	232,090	銀行
小 計	株数・金額 527	665	2,177	232,090	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.3%>

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等	
		株 数	評 価 額		
			外貨建金額		邦貨換算金額
(インドネシア) BANK RAKYAT INDONESIA PERSER	百株 44,554	百株 36,289	千円 20,412,562	千円 193,919	銀行
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	1	1	— <1.1%>	
(台湾) TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC MEDIATEK INC	1,770 880	1,870 830	千ニュー台湾ドル 104,720 56,606	474,905 256,708	半導体・半導体製造装置 半導体・半導体製造装置
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	2,650 2	2,700 2	161,326 — <4.1%>	
合 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	90,028 48	83,688 48	— 17,677,644 <97.9%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2023年7月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 17,677,644	% 97.5
コール・ローン等、その他	461,202	2.5
投資信託財産総額	18,138,846	100.0

(注) 期末における外貨建純資産（17,924,856千円）の投資信託財産総額（18,138,846千円）に対する比率は98.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=141.83円	1 メキシコペソ=8.3512円	1 ユーロ=157.84円	1 イギリスポンド=182.44円
1 スイスフラン=163.72円	1 デンマーククローネ=21.19円	1 シンガポールドル=106.60円	100インドネシアルピア=0.95円
1 ニュー台湾ドル=4.535円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年7月24日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	18,221,419,346
コール・ローン等	296,305,155
株式(評価額)	17,677,644,803
未収入金	218,134,589
未収配当金	29,334,799
(B) 負債	169,967,775
未払金	162,607,733
未払解約金	7,359,714
未払利息	328
(C) 純資産総額(A-B)	18,051,451,571
元本	4,194,323,702
次期繰越損益金	13,857,127,869
(D) 受益権総口数	4,194,323,702口
1万口当たり基準価額(C/D)	43,038円

<注記事項>

- ①期首元本額 4,196,132,658円
 期中追加設定元本額 205,042,336円
 期中一部解約元本額 206,851,292円
 また、1口当たり純資産額は、期末4,3038円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ <DC>海外株式オープン	3,525,375,139円
三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	550,803,172円
三菱UFJ グローバルバランス(積極型)	44,146,856円
三菱UFJ <DC>グローバルバランス 60型	29,899,382円
三菱UFJ グローバルバランス(安定型)	23,044,308円
三菱UFJ <DC>グローバルバランス 40型	15,603,048円
三菱UFJ <DC>グローバルバランス 20型	4,603,155円
三菱UFJ グローバルバランスVA	848,642円
合計	4,194,323,702円

○損益の状況 (2022年7月23日～2023年7月24日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	431,389,868
受取配当金	422,216,021
受取利息	7,760,173
その他収益金	1,474,230
支払利息	△ 60,556
(B) 有価証券売買損益	2,015,423,256
売買益	2,944,144,395
売買損	△ 928,721,139
(C) 保管費用等	△ 6,644,425
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,440,168,699
(E) 前期繰越損益金	11,452,250,123
(F) 追加信託差損益金	556,727,929
(G) 解約差損益金	△ 592,018,882
(H) 計(D+E+F+G)	13,857,127,869
次期繰越損益金(H)	13,857,127,869

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

【お知らせ】

三菱UFJ国際投信株式会社は、2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更します。

日本債券マザーファンド

《第25期》決算日2023年7月24日

[計算期間：2022年7月23日～2023年7月24日]

「日本債券マザーファンド」は、7月24日に第25期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第25期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の公社債を主要投資対象とし、ポートフォリオのデュレーション調整と銘柄選択による収益獲得をめざして運用を行います。ポートフォリオのデュレーションはベンチマークの平均を中心に調整します。デュレーション調整は主としてファンダメンタルズ分析に基づく中期的な金利見通しに沿って行います。銘柄選択は信用リスクと金利スプレッドを定量的・定性的に分析して行います。NOMURA-BPI総合をベンチマークとし、同指数を上回る投資成果をめざして運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		NOMURA-BPI総合		債組入比率	債先物比率	純資産額
	期騰	期中落率	期騰	期中落率			
	円	%		%	%	%	百万円
21期(2019年7月22日)	15,071	3.2	392.34	2.9	95.4	—	8,253
22期(2020年7月22日)	14,876	△1.3	387.22	△1.3	96.2	—	8,265
23期(2021年7月26日)	14,983	0.7	388.73	0.4	96.2	—	8,863
24期(2022年7月22日)	14,526	△3.1	377.16	△3.0	98.2	—	8,914
25期(2023年7月24日)	14,447	△0.5	374.97	△0.6	98.2	—	9,247

(注) NOMURA-BPI総合とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率ー売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		N O M U R A - B P I 総 合		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
	円	騰 落 率		騰 落 率			
(期 首) 2022年 7 月 22 日	14,526	—	377.16	—	98.2	—	—
7 月 末	14,574	0.3	378.55	0.4	97.9	—	—
8 月 末	14,543	0.1	377.67	0.1	97.7	—	—
9 月 末	14,387	△1.0	373.60	△0.9	97.2	—	—
10 月 末	14,366	△1.1	373.25	△1.0	97.8	—	—
11 月 末	14,292	△1.6	371.33	△1.5	97.7	—	—
12 月 末	14,107	△2.9	366.60	△2.8	97.3	—	—
2023年 1 月 末	14,060	△3.2	365.59	△3.1	97.6	—	—
2 月 末	14,232	△2.0	369.57	△2.0	96.2	—	—
3 月 末	14,419	△0.7	374.74	△0.6	97.5	—	—
4 月 末	14,468	△0.4	375.61	△0.4	98.4	—	—
5 月 末	14,457	△0.5	375.27	△0.5	98.7	—	—
6 月 末	14,492	△0.2	376.29	△0.2	97.5	—	—
(期 末) 2023年 7 月 24 日	14,447	△0.5	374.97	△0.6	98.2	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

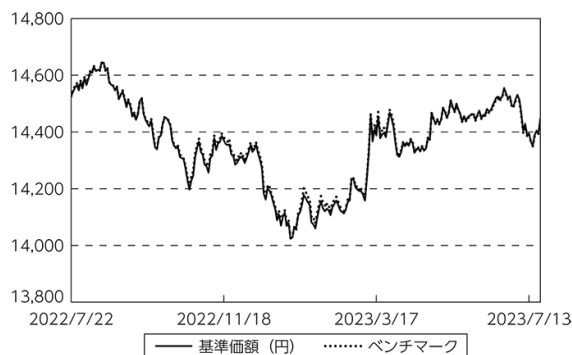
◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ0.5%の下落となりました。

◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(−0.6%)を0.1%上回りました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

● 基準価額の主な変動要因

(下落要因)

国内金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

● 投資環境について

◎ 国内債券市況

- ・国内金利は上昇しました。
- ・国内金利は、日銀が2022年12月の金融政策決定会合において長期金利の許容変動幅を拡大したことや、その後も政策修正懸念が台頭したことなどから上昇しました。

● 当該投資信託のポートフォリオについて

- ・ベンチマークを上回る投資成果をめざして運用を行いました。
- ・ファンド全体のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）については中立を基本に調整しました。年限別構成については、中期ゾーンのアンダーウェイト・超長期ゾーンのオーバーウェイトを基本に調整しました。
- ・債券種別構成については、日銀による社債買入オペや投資家の資金余剰感を背景とした需給関係から、一般債の спреッド（国債に対する金利差）は横ばい圏で推移すると判断し、相対的に спреッド 妙味のある事業債、円建外債およびABSのオーバーウェイト、spreッド 妙味の乏しい地方債および政府保証債のアンダーウェイトを維持しました。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異について

(プラス要因)

◎ 年限別構成

- ・2023年1月末から期間末にかけてパフォーマンスの優れた超長期ゾーンをオーバーウェイトとしたこと。

◎ 債券種別構成

- ・2023年3月下旬から期間末にかけてスプレッドの縮小した事業債および円建外債をオーバーウェイトとしたこと。

(マイナス要因)

◎ 年限別構成

- ・期間の初めから2023年1月末にかけてパフォーマンスの劣化した超長期ゾーンをオーバーウェイトとしたこと。

○ 今後の運用方針

- ・国内景気は既往の資源高の影響などを受けつつも持ち直しています。輸出や生産は、供給制約の影響の緩和に支えられて横ばい圏内の動きとなっています。また、個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも緩やかに増加しています。しかしながら、海外の経済・物価動向など懸念材料も多く、ウクライナ情勢の展開や資源価格の問題もあり景気先行きの不確実性は依然として高いものと思われます。国内債券相場は、海外金利動向や為替動向など懸念材料はあるものの、本邦金融政策修正観測の後退などから底堅い展開を予想します。国内事業債のspreッドについてはもみ合いでの推移になるものと思われます。
- ・以上の見通しの下、デュレーションは当面ベンチマーク対比中立を基本にリスク度合いを調整し、国債以外の一般債は事業債および円建外債を中心にベンチマーク対比多めの保有を維持する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2022年7月23日～2023年7月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、14,360円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年7月23日～2023年7月24日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 3,567,805	千円 3,119,537
	社債券	901,294	496,914 (400,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2022年7月23日～2023年7月24日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 4,469	百万円 806	% 18.0	百万円 3,616	百万円 976	% 27.0

(注) 公社債には現先などによるものを含みません。

利害関係人の発行する有価証券等

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 末 保 有 額
公社債	百万円 99	百万円 —	百万円 199

利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

種 類	買 付 額
公社債	百万円 100

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三菱HCキャピタル、アコム、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2023年7月24日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	5,580,000	5,688,425	61.5	—	57.2	4.3	—	
普通社債券	3,400,000	3,397,077	36.7	—	1.0	21.7	14.0	
	(3,300,000)	(3,297,059)	(35.7)	(—)	(1.0)	(21.7)	(12.9)	
合 計	8,980,000	9,085,502	98.2	—	58.2	26.0	14.0	
	(3,300,000)	(3,297,059)	(35.7)	(—)	(1.0)	(21.7)	(12.9)	

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当期			末
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	%	千円	千円	
第5回利付国債(40年)	2.0	70,000	81,678	2052/3/20
第7回利付国債(40年)	1.7	40,000	43,891	2054/3/20
第10回利付国債(40年)	0.9	70,000	61,501	2057/3/20
第11回利付国債(40年)	0.8	70,000	59,232	2058/3/20
第14回利付国債(40年)	0.7	60,000	47,817	2061/3/20
第15回利付国債(40年)	1.0	70,000	61,361	2062/3/20
第350回利付国債(10年)	0.1	300,000	300,486	2028/3/20
第351回利付国債(10年)	0.1	100,000	100,024	2028/6/20
第355回利付国債(10年)	0.1	170,000	169,452	2029/6/20
第359回利付国債(10年)	0.1	150,000	148,725	2030/6/20
第360回利付国債(10年)	0.1	280,000	277,046	2030/9/20
第361回利付国債(10年)	0.1	140,000	138,220	2030/12/20
第363回利付国債(10年)	0.1	170,000	167,115	2031/6/20
第370回利付国債(10年)	0.5	110,000	110,662	2033/3/20
第371回利付国債(10年)	0.4	20,000	19,895	2033/6/20
第23回利付国債(30年)	2.5	50,000	61,341	2036/6/20
第26回利付国債(30年)	2.4	30,000	36,560	2037/3/20
第28回利付国債(30年)	2.5	30,000	37,151	2038/3/20
第30回利付国債(30年)	2.3	50,000	60,685	2039/3/20
第31回利付国債(30年)	2.2	20,000	24,005	2039/9/20
第32回利付国債(30年)	2.3	40,000	48,638	2040/3/20
第33回利付国債(30年)	2.0	40,000	46,782	2040/9/20
第34回利付国債(30年)	2.2	50,000	60,083	2041/3/20
第36回利付国債(30年)	2.0	30,000	35,074	2042/3/20
第37回利付国債(30年)	1.9	40,000	46,083	2042/9/20
第39回利付国債(30年)	1.9	50,000	57,565	2043/6/20
第41回利付国債(30年)	1.7	30,000	33,445	2043/12/20
第42回利付国債(30年)	1.7	30,000	33,422	2044/3/20
第44回利付国債(30年)	1.7	30,000	33,404	2044/9/20
第45回利付国債(30年)	1.5	10,000	10,748	2044/12/20
第46回利付国債(30年)	1.5	50,000	53,732	2045/3/20
第47回利付国債(30年)	1.6	20,000	21,861	2045/6/20
第49回利付国債(30年)	1.4	30,000	31,589	2045/12/20
第50回利付国債(30年)	0.8	50,000	46,603	2046/3/20
第53回利付国債(30年)	0.6	20,000	17,694	2046/12/20
第54回利付国債(30年)	0.8	110,000	101,612	2047/3/20
第58回利付国債(30年)	0.8	100,000	91,433	2048/3/20
第60回利付国債(30年)	0.9	90,000	83,730	2048/9/20
第61回利付国債(30年)	0.7	30,000	26,511	2048/12/20
第62回利付国債(30年)	0.5	10,000	8,364	2049/3/20
第67回利付国債(30年)	0.6	140,000	118,227	2050/6/20
第69回利付国債(30年)	0.7	50,000	43,153	2050/12/20
第72回利付国債(30年)	0.7	40,000	34,380	2051/9/20
第74回利付国債(30年)	1.0	10,000	9,286	2052/3/20
第75回利付国債(30年)	1.3	20,000	20,000	2052/6/20

銘	柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券		%	千円	千円	
第76回利付国債 (30年)		1.4	70,000	71,707	2052/9/20
第77回利付国債 (30年)		1.6	20,000	21,458	2052/12/20
第121回利付国債 (20年)		1.9	30,000	33,515	2030/9/20
第123回利付国債 (20年)		2.1	80,000	90,694	2030/12/20
第140回利付国債 (20年)		1.7	130,000	145,119	2032/9/20
第141回利付国債 (20年)		1.7	20,000	22,356	2032/12/20
第143回利付国債 (20年)		1.6	140,000	155,395	2033/3/20
第145回利付国債 (20年)		1.7	110,000	123,270	2033/6/20
第146回利付国債 (20年)		1.7	60,000	67,316	2033/9/20
第147回利付国債 (20年)		1.6	60,000	66,759	2033/12/20
第148回利付国債 (20年)		1.5	130,000	143,364	2034/3/20
第149回利付国債 (20年)		1.5	100,000	110,283	2034/6/20
第150回利付国債 (20年)		1.4	100,000	109,221	2034/9/20
第151回利付国債 (20年)		1.2	50,000	53,487	2034/12/20
第152回利付国債 (20年)		1.2	90,000	96,247	2035/3/20
第153回利付国債 (20年)		1.3	110,000	118,818	2035/6/20
第154回利付国債 (20年)		1.2	90,000	96,117	2035/9/20
第160回利付国債 (20年)		0.7	90,000	89,831	2037/3/20
第162回利付国債 (20年)		0.6	90,000	88,215	2037/9/20
第163回利付国債 (20年)		0.6	120,000	117,354	2037/12/20
第164回利付国債 (20年)		0.5	90,000	86,571	2038/3/20
第166回利付国債 (20年)		0.7	120,000	118,137	2038/9/20
第167回利付国債 (20年)		0.5	60,000	57,178	2038/12/20
第172回利付国債 (20年)		0.4	100,000	92,291	2040/3/20
第176回利付国債 (20年)		0.5	130,000	120,337	2041/3/20
第180回利付国債 (20年)		0.8	60,000	57,931	2042/3/20
第182回利付国債 (20年)		1.1	130,000	131,665	2042/9/20
第183回利付国債 (20年)		1.4	50,000	53,207	2042/12/20
第184回利付国債 (20年)		1.1	30,000	30,293	2043/3/20
小	計		5,580,000	5,688,425	
普通社債券					
第447回中国電力		0.455	100,000	100,048	2028/5/25
第459回九州電力		0.445	100,000	99,965	2028/1/25
第14回セブン&アイ・ホールディングス		0.19	100,000	99,891	2025/12/19
第16回Zホールディングス		0.6	100,000	100,122	2025/6/11
第19回Zホールディングス		0.35	100,000	99,067	2026/7/28
第15回楽天グループ		0.5	100,000	94,535	2024/12/2
第43回IHI		0.2	100,000	99,862	2024/10/17
第15回JA三井リース		0.22	100,000	99,936	2025/1/24
第9回三井住友トラスト・パナソニックファイナンス		0.22	100,000	99,732	2025/10/10
第25回トヨタ自動車		0.1	100,000	99,744	2026/3/27
第1回明治安田生命2019基金		0.29	100,000	99,917	2024/8/2
第1回日本生命2021基金劣後特約付		0.28	100,000	99,623	2026/8/3
第13回住友信託銀行 (劣後特約付)		2.341	100,000	104,307	2026/6/15
第14回住友信託銀行劣後特約付		2.159	100,000	104,133	2026/9/28
第1回みずほフィナンシャルグループ		0.95	100,000	100,270	2024/7/16

銘柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
普通社債券	%	千円	千円	
第16回エヌ・ティ・ティ・ファイナンス	0.18	100,000	99,891	2025/12/19
第30回SBIホールディングス	1.18	100,000	100,456	2027/7/22
第34回SBIホールディングス	0.95	100,000	100,023	2026/6/5
第16回イオンフィナンシャルサービス	0.27	200,000	199,356	2025/6/24
第79回アコム	0.29	100,000	99,949	2025/2/28
第212回オリックス	0.654	200,000	202,098	2028/3/8
第73回三菱UFJリース	0.28	100,000	99,675	2027/1/29
第38回大和証券グループ本社	0.54	100,000	100,143	2026/2/24
第2回ソフトバンク	0.33	100,000	99,891	2025/3/18
第8回ソフトバンク	0.35	100,000	99,718	2025/12/3
第35回フランス相互信用連合銀行	0.279	100,000	98,688	2026/10/21
第9回ピー・ピー・シー・イー・エス・エー期限前償還条項付	1.1	100,000	96,211	2031/12/16
第1回パークレイズ・ピーエルシー期限前償還条項付	1.232	100,000	100,061	2024/9/25
第10回ロイズ・バンキング・グループ期限前償還条項付	1.247	100,000	99,832	2028/5/26
第6回フランス電力	1.059	100,000	99,906	2028/6/28
第3回ソシエテ ジェネラル円貨社債 (2018)	0.804	100,000	100,009	2023/10/12
UBS GROUP FUNDING (SWITZERLAND)	0.719	100,000	100,018	2024/11/8
小 計		3,400,000	3,397,077	
合 計		8,980,000	9,085,502	

○投資信託財産の構成

(2023年7月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 9,085,502	% 98.2
コール・ローン等、その他	166,245	1.8
投資信託財産総額	9,251,747	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年7月24日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	9,251,747,353
コール・ローン等	147,370,739
公社債(評価額)	9,085,502,900
未収利息	17,574,278
前払費用	1,299,436
(B) 負債	3,952,544
未払解約金	3,952,183
未払利息	361
(C) 純資産総額(A-B)	9,247,794,809
元本	6,401,217,864
次期繰越損益金	2,846,576,945
(D) 受益権総口数	6,401,217,864口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,447円

<注記事項>

- ①期首元本額 6,136,780,370円
 期中追加設定元本額 768,245,604円
 期中一部解約元本額 503,808,110円
 また、1口当たり純資産額は、期末14,447円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ D C金利連動アロケーション型バランスファンド	3,169,432,866円
三菱UFJ <DC>日本債券ファンド	1,336,154,225円
三菱UFJ 国内バランス20	956,712,033円
三菱UFJ グローバルバランス(安定型)	248,808,123円
三菱UFJ グローバルバランス(積極型)	183,443,001円
三菱UFJ <DC>グローバルバランス40型	169,028,476円
三菱UFJ <DC>グローバルバランス20型	152,901,159円
三菱UFJ <DC>グローバルバランス60型	122,732,177円
三菱UFJ 日本債券ファンドF(適格機関投資家限定)	52,834,945円
三菱UFJ グローバルバランスVA	9,170,859円
合計	6,401,217,864円

【お知らせ】

三菱UFJ国際投信株式会社は、2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更します。

○損益の状況 (2022年7月23日～2023年7月24日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	70,616,371
受取利息	70,705,801
支払利息	△ 89,430
(B) 有価証券売買損益	△ 116,947,500
売買益	23,434,100
売買損	△ 140,381,600
(C) 保管費用等	△ 29,694
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 46,360,823
(E) 前期繰越損益金	2,777,238,929
(F) 追加信託差損益金	335,641,151
(G) 解約差損益金	△ 219,942,312
(H) 計(D+E+F+G)	2,846,576,945
次期繰越損益金(H)	2,846,576,945

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド

《第23期》決算日2022年12月15日

[計算期間：2021年12月16日～2022年12月15日]

「三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド」は、12月15日に第23期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第23期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	<p>FTSE世界国債インデックス（除く日本・円ベース）をベンチマークとし、これを中長期的に上回る投資成果をめざします。</p> <p>運用にあたっては、各国のマクロ分析や金利予測に基づいて、カンントリーアロケーション、デュレーションおよび残存構成のコントロール、利回り較差に着目した銘柄選択でアクティブに超過収益の獲得をめざします。さらに、ポートフォリオとベンチマークを比較分析することにより、リスクのチェックとコントロールを行います。</p> <p>組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。ただし、エクスポージャーのコントロール等を目的として為替予約取引等を活用する場合があります。</p> <p>公社債の組入比率は高位（通常の状態では90%以上）を基本とします。</p> <p>（ファンドにおいてわが国を除く世界主要国の公社債とは、国債、政府保証債、政府機関債、国際機関債（複数国が協調して設立した国際的な組織が発行する債券）、社債等を指します。）</p>
主要運用対象	わが国を除く世界主要国の公社債（国債、政府保証債、政府機関債、国際機関債、社債等）を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		FTSE世界国債インデックス (除く日本・円ベース)		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	期騰落	率	期騰落	率			
19期(2018年12月17日)	円	%		%	%	%	百万円
	29,150	△2.6	453.56	△2.0	96.4	—	45,158
20期(2019年12月16日)	30,690	5.3	472.22	4.1	95.6	—	44,475
21期(2020年12月15日)	32,650	6.4	497.78	5.4	95.5	—	46,828
22期(2021年12月15日)	33,655	3.1	515.51	3.6	96.0	—	48,104
23期(2022年12月15日)	34,017	1.1	514.59	△0.2	94.0	—	47,121

(注) FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 価 額		FTSE世界国債インデックス (除く日本・円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
	騰 落 率	率	騰 落 率	率			
(期 首) 2021年12月15日	円	%	(除く日本・円ベース)	%	%	%	%
	33,655	—	515.51	—	96.0	—	—
12月末	33,796	0.4	516.73	0.2	97.0	—	—
2022年1月末	33,246	△1.2	507.46	△1.6	96.7	—	—
2月末	32,660	△3.0	500.36	△2.9	95.0	—	—
3月末	33,856	0.6	514.02	△0.3	95.5	—	—
4月末	34,018	1.1	514.17	△0.3	93.7	—	—
5月末	33,792	0.4	512.00	△0.7	94.9	—	—
6月末	34,612	2.8	527.33	2.3	94.2	—	—
7月末	34,913	3.7	528.62	2.5	95.3	—	—
8月末	34,528	2.6	523.32	1.5	93.4	—	—
9月末	34,178	1.6	516.03	0.1	90.5	—	—
10月末	35,185	4.5	531.09	3.0	90.3	—	—
11月末	34,087	1.3	516.24	0.1	95.4	—	—
(期 末) 2022年12月15日	34,017	1.1	514.59	△0.2	94.0	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

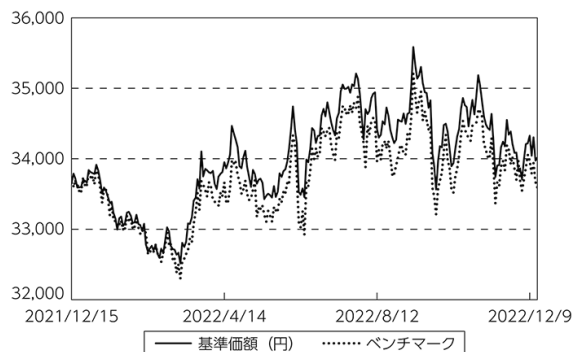
◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ1.1%の上昇となりました。

◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(−0.2%)を1.3%上回りました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

● 基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

米ドルが対円で上昇したことや債券利子収入を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

米欧の長期金利が上昇したことなどが基準価額の下落要因となりました。

● 投資環境について

◎ 海外債券市況

- ・米独長期金利は上昇しました。
- ・米独長期金利は、世界的なインフレ上昇を受けて米国を中心に複数の国で積極的な金融引き締め観測が高まったことなどから、期首から2022年10月にかけて上昇しました。その後、米国の消費者物価指数（CPI）の伸びが市場予想を下回ったことなどを背景に、金融引き締めペースの減速期待が高まったことなどから、米独長期金利は低下しました。結果、期を通じて見ると、米独長期金利は上昇しました。

◎ 為替市況

- ・米ドル、ユーロは対円で上昇しました。
- ・日銀が緩和的な金融政策を維持する中、米独長期金利の上昇により本邦との金利差が拡大したことなどから、米ドル・ユーロは対円で上昇しました。

● 当該投資信託のポートフォリオについて

- ・わが国を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とし、ベンチマークを中長期的に上回る投資成果をめざして運用を行いました。期を通じて債券の組入比率は高位を維持しました。
- ・債券デュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、金融政策の織り込み具合等を注視しコントロールしました。米国の債券デュレーションは期首から2022年6月中旬にかけてはベンチ

マーク比短め、6月下旬から9月下旬にかけては同中立から長めでコントロールし、その後は同短めとしました。欧州の債券デュレーションは期首から6月中旬にかけては同長め、6月下旬から7月上旬にかけて同短め、その後は同長めとしました。

- ・欧州においては、欧州中央銀行（ECB）の金融政策などを背景に国別配分をコントロールしました。イタリアは期首から7月下旬にかけてベンチマーク比中立からオーバーウェイトでコントロールし、その後は同アンダーウェイトとしました。フランスは期首から10月にかけて同アンダーウェイトとし、その後は同中立からオーバーウェイトでコントロールしました。スペインは期首から2月上旬にかけては同オーバーウェイト、2月中旬から11月にかけては同中立からアンダーウェイトでコントロールし、その後は同オーバーウェイトとしました。また、期を通じてドイツ、オランダ、ベルギーを同中立からアンダーウェイトでそれぞれコントロールしました。
- ・カントリーアロケーション戦略（通貨配分）では、景気の相対感等に着目し通貨配分をコントロールしました。米ドルは期首から1月上旬にかけてはベンチマーク比オーバーウェイト、1月中旬から4月下旬にかけては同中立からアンダーウェイトでコントロールし、5月から11月上旬にかけては同オーバーウェイト、その後は同中立からアンダーウェイトでコントロールしました。ユーロは期首から11月にかけて同アンダーウェイトとし、その後は同オーバーウェイトとしました。中国元は期首から10月にかけては同中立からオーバーウェイトでコントロールし、その後は同アンダーウェイトとしました。英ポンドは期首から6月中旬にかけては同中立からオーバーウェイトでコントロールし、その後は同中立からアンダーウェイトでコントロールしました。また、期を通じてカナダドル、豪ドル、シンガポールドル、スウェーデンクローナ、ノルウェークローネ、メキシコペソは同中

立からオーバーウェイトでそれぞれコントロールしました。

●当該投資信託のベンチマークとの差異について
(プラス要因)

- ・期首から2022年4月にかけて、中国元をベンチマーク比オーバーウェイトとしていたことなどがプラス要因となりました。

○今後の運用方針

- ・金利戦略においては、各国の景気動向に加え、財政政策・金融政策を含む各種政策や市場の内部要因が長期金利へ与える影響を考慮し、デュレーションなどのコントロールを行います。その中で、欧州では各国の財政状況や政策対応などを重視した銘柄選別に注力します。また、カントリーアロケーション戦略においては、各国のファンダメンタルズ状況や投資家のリスク選好度を重視し、環境見通しの変化に対応して調整を行う方針です。債券の組入比率は高位を維持し、信用力の高い国債中心の組み入れを維持する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年12月16日～2022年12月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(7)	(0.021)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	7	0.021	
期中の平均基準価額は、33,995円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年12月16日～2022年12月15日)

公社債

		買付額	売付額
アメリカ	国債証券	千アメリカドル 148,323	千アメリカドル 157,842 (11,000)
	社債券	—	— (4,000)
カナダ	国債証券	千カナダドル 17,853	千カナダドル 17,360
メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 263,259	千メキシコペソ 109,294 (10,000)
ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
外	ドイツ	国債証券 56,908	34,849
	イタリア	国債証券 2,289	28,695
	フランス	国債証券 49,246	24,322
	オランダ	国債証券 2,679	3,881
	スペイン	国債証券 13,776	9,988
	ベルギー	国債証券 5,536	2,878
	アイルランド	国債証券 100	1,966
イギリス	国債証券	千イギリスポンド 25,935	千イギリスポンド 28,073
	特殊債券	—	2,380
スウェーデン	国債証券	千スウェーデンクローネ 37,371	千スウェーデンクローネ 37,569
ノルウェー	国債証券	千ノルウェークローネ 99,680	千ノルウェークローネ 97,999
ポーランド	国債証券	千ポーランドズロチ 1,779	千ポーランドズロチ 4,779
	特殊債券	—	4,333
オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル 45,721	千オーストラリアドル 52,168
シンガポール	国債証券	千シンガポールドル 19,717	千シンガポールドル 5,588
マレーシア	国債証券	千マレーシアリングギット —	千マレーシアリングギット — (1,500)
中国	国債証券	千中国元 147,486	千中国元 247,860
イスラエル	国債証券	千イスラエルシェケル 1,004	千イスラエルシェケル — (1,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2021年12月16日～2022年12月15日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 36,450	百万円 10,069	% 27.6	百万円 38,051	百万円 12,175	% 32.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2022年12月15日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 160,000	千アメリカドル 151,869	千円 20,575,269	% 43.7	% —	% 19.9	% 11.5	% 12.3
カナダ	千カナダドル 10,900	千カナダドル 10,191	1,019,553	2.2	—	1.2	0.1	0.9
メキシコ	千メキシコペソ 335,000	千メキシコペソ 323,160	2,230,289	4.7	—	3.0	1.5	0.2
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	20,000	21,585	3,123,594	6.6	—	4.6	2.0	—
イタリア	15,800	13,696	1,981,976	4.2	—	0.8	3.4	—
フランス	41,000	33,237	4,809,805	10.2	—	7.9	0.8	1.5
オランダ	6,000	5,224	756,063	1.6	—	1.6	—	—
スペイン	23,900	22,242	3,218,765	6.8	—	4.8	2.0	—
ベルギー	9,600	8,581	1,241,853	2.6	—	2.6	—	—
アイルランド	700	640	92,642	0.2	—	0.2	—	—
イギリス	千イギリスポンド 14,400	千イギリスポンド 9,815	1,652,118	3.5	—	2.4	—	1.1
スウェーデン	千スウェーデンクローネ 12,500	千スウェーデンクローネ 11,898	158,731	0.3	—	0.2	0.2	—
ノルウェー	千ノルウェークローネ 12,000	千ノルウェークローネ 11,386	158,495	0.3	—	0.1	0.2	—
ポーランド	千ポーランドズロチ 7,700	千ポーランドズロチ 6,680	206,517	0.4	—	0.2	0.1	0.1
オーストラリア	千オーストラリアドル 13,200	千オーストラリアドル 8,643	804,266	1.7	—	1.7	—	—
シンガポール	千シンガポールドル 17,100	千シンガポールドル 15,962	1,605,496	3.4	—	3.2	0.2	—
マレーシア	千マレーシアリンギット 9,600	千マレーシアリンギット 9,776	300,718	0.6	—	0.4	0.2	—
中国	千中国元 10,000	千中国元 10,062	196,065	0.4	—	0.4	—	—
イスラエル	千イスラエルシェケル 5,000	千イスラエルシェケル 4,307	171,330	0.4	—	0.4	—	—
合 計	—	—	44,303,553	94.0	—	55.5	22.3	16.1

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	当 期 額 面 金 額	期 末 評 価 額		償還年月日	
				千 ア メ リ カ ド ル	千 ア メ リ カ ド ル		
					外 貨 建 金 額		邦 貨 換 算 金 額
アメリカ		%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円		
	国債証券	0.125 T-NOTE 230915	0.125	13,000	12,571	1,703,167	2023/9/15
		1.625 T-NOTE 260215	1.625	17,000	15,857	2,148,416	2026/2/15
		1.75 T-NOTE 230515	1.75	7,000	6,917	937,154	2023/5/15
		1.875 T-NOTE 290228	1.875	14,000	12,669	1,716,457	2029/2/28
		2 T-BOND 500215	2.0	500	362	49,161	2050/2/15
		2 T-NOTE 250815	2.0	19,000	18,035	2,443,503	2025/8/15
		2.75 T-NOTE 240215	2.75	13,500	13,215	1,790,399	2024/2/15
		2.875 T-BOND 490515	2.875	200	175	23,721	2049/5/15
		2.875 T-BOND 520515	2.875	7,800	6,849	927,953	2052/5/15
		2.875 T-NOTE 280815	2.875	20,000	19,210	2,602,591	2028/8/15
		2.875 T-NOTE 320515	2.875	5,000	4,759	644,853	2032/5/15
		3.125 T-BOND 430215	3.125	7,500	6,818	923,837	2043/2/15
		3.125 T-BOND 440815	3.125	2,000	1,810	245,250	2044/8/15
		3.25 T-BOND 420515	3.25	500	465	63,109	2042/5/15
		3.875 T-BOND 400815	3.875	2,000	2,065	279,861	2040/8/15
		4.125 T-NOTE 270930	4.125	5,000	5,100	691,027	2027/9/30
		4.25 T-NOTE 240930	4.25	10,000	9,986	1,353,000	2024/9/30
		4.75 T-BOND 410215	4.75	5,000	5,753	779,539	2041/2/15
	特殊債券	0.875 IBRD 300514	0.875	10,000	8,175	1,107,649	2030/5/14
	普通社債券	7 IBM CORP 251030	7.0	1,000	1,067	144,613	2025/10/30
小	計					20,575,269	
カナダ				千カナダドル	千カナダドル		
	国債証券	0.25 CAN GOVT 230201	0.25	4,400	4,378	438,022	2023/2/1
		1.5 CAN GOVT 260601	1.5	400	378	37,877	2026/6/1
		2 CAN GOVT 280601	2.0	700	672	67,280	2028/6/1
		2 CAN GOVT 511201	2.0	3,400	2,822	282,397	2051/12/1
		2.25 CAN GOVT 290601	2.25	2,000	1,938	193,975	2029/6/1
小	計					1,019,553	
メキシコ				千メキシコペソ	千メキシコペソ		
	国債証券	10 MEXICAN BONOS 241205	10.0	15,000	15,113	104,305	2024/12/5
		7.5 MEXICAN BONOS 270603	7.5	110,000	105,440	727,697	2027/6/3
		7.75 MEXICAN BONO 310529	7.75	95,000	89,281	616,172	2031/5/29
		8.5 MEXICAN BONOS 290531	8.5	95,000	94,097	649,413	2029/5/31
		8.5 MEXICAN BONOS 381118	8.5	20,000	19,227	132,699	2038/11/18
小	計					2,230,289	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
ドイツ	国債証券	0 BUND 520815	—	1,000	598	86,619	2052/8/15
		0 OBL 270416	—	7,000	6,447	933,080	2027/4/16
		3.25 BUND 420704	3.25	12,000	14,538	2,103,894	2042/7/4
イタリア	国債証券	0 ITALY GOVT 260401	—	12,300	11,137	1,611,654	2026/4/1
		0.25 ITALY GOVT 280315	0.25	1,500	1,280	185,257	2028/3/15
		1.7 ITALY GOVT 510901	1.7	2,000	1,278	185,064	2051/9/1
フランス	国債証券	0 O.A.T 240225	—	5,000	4,874	705,367	2024/2/25
		0 O.A.T 270225	—	3,000	2,746	397,415	2027/2/25

銘柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
フランス	国債証券	0 O. A. T 291125	—	5,000	4,297	621,894	2029/11/25
		0 O. A. T 320525	—	14,000	11,224	1,624,333	2032/5/25
		0.75 O. A. T 520525	0.75	8,000	5,024	727,116	2052/5/25
		1.25 O. A. T 360525	1.25	6,000	5,069	733,677	2036/5/25
オランダ	国債証券	0.25 NETH GOVT 290715	0.25	3,000	2,660	385,012	2029/7/15
		0.5 NETH GOVT 320715	0.5	3,000	2,564	371,050	2032/7/15
スペイン	国債証券	0.8 SPAIN GOVT 290730	0.8	9,000	7,984	1,155,365	2029/7/30
		1 SPAIN GOVT 501031	1.0	2,500	1,498	216,801	2050/10/31
		1.95 SPAIN GOVT 260430	1.95	1,000	986	142,726	2026/4/30
		2.35 SPAIN GOVT 330730	2.35	6,000	5,668	820,357	2033/7/30
		4.9 SPAIN GOVT 400730	4.9	400	491	71,128	2040/7/30
5.9 SPAIN GOVT 260730	5.9	5,000	5,613	812,385	2026/7/30		
ベルギー	国債証券	0.9 BEL GOVT 290622	0.9	2,800	2,575	372,763	2029/6/22
		1 BEL GOVT 310622	1.0	6,000	5,364	776,267	2031/6/22
		1.6 BEL GOVT 470622	1.6	400	320	46,362	2047/6/22
		1.7 BEL GOVT 500622	1.7	400	321	46,460	2050/6/22
アイルランド	国債証券	1.1 IRISH GOVT 290515	1.1	600	560	81,130	2029/5/15
		1.5 IRISH GOVT 500515	1.5	100	79	11,512	2050/5/15
小 計						15,224,701	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
	国債証券	1 GILT 240422	1.0	3,100	3,001	505,135	2024/4/22
		1.25 GILT 411022	1.25	1,300	865	145,740	2041/10/22
		1.25 GILT 510731	1.25	7,400	4,207	708,142	2051/7/31
		1.75 GILT 490122	1.75	2,600	1,741	293,099	2049/1/22
小 計						1,652,118	
スウェーデン				千スウェーデンクローネ	千スウェーデンクローネ		
	国債証券	0.125 SWD GOVT 310512	0.125	3,000	2,622	34,977	2031/5/12
		1 SWD GOVT 261112	1.0	6,000	5,771	76,997	2026/11/12
		1.75 SWD GOVT 331111	1.75	3,500	3,504	46,755	2033/11/11
小 計						158,731	
ノルウェー				千ノルウェークローネ	千ノルウェークローネ		
	国債証券	1.375 NORWE GOVT 300819	1.375	2,000	1,807	25,157	2030/8/19
		1.5 NORWE GOVT 260219	1.5	8,500	8,163	113,638	2026/2/19
		2.125 NORWE GOVT 320518	2.125	1,500	1,415	19,699	2032/5/18
小 計						158,495	
ポーランド				千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ		
	国債証券	2.5 POLAND 240425	2.5	2,200	2,086	64,492	2024/4/25
		2.75 POLAND 291025	2.75	3,500	2,806	86,769	2029/10/25
		3.75 POLAND 270525	3.75	2,000	1,787	55,254	2027/5/25
小 計						206,517	
オーストラリア				千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
	国債証券	1.75 AUST GOVT 510621	1.75	13,200	8,643	804,266	2051/6/21
小 計						804,266	
シンガポール				千シンガポールドル	千シンガポールドル		
	国債証券	1.625 SINGAPOREGOV 310701	1.625	10,500	9,426	948,115	2031/7/1

銘柄	当 期 末					
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
シンガポール	%	千シンガポールドル	千シンガポールドル	千円		
国債証券	2.375 SINGAPORGOV 250601	2.375	1,000	985	99,121	2025/6/1
	2.75 SINGAPORGOV 460301	2.75	600	605	60,891	2046/3/1
	2.875SINGAPORGOV 300901	2.875	5,000	4,945	497,368	2030/9/1
小 計					1,605,496	
マレーシア			千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット		
国債証券	3.885 MALAYSIAGOV 290815	3.885	4,000	3,963	121,933	2029/8/15
	3.9 MALAYSIAGOV 261130	3.9	3,000	3,027	93,114	2026/11/30
	4.935 MALAYSIAGOV 430930	4.935	2,600	2,785	85,670	2043/9/30
小 計					300,718	
中国			千中国元	千中国元		
国債証券	2.89 CHINA GOVT 311118	2.89	8,000	7,988	155,648	2031/11/18
	3.53 CHINA GOVT 511018	3.53	2,000	2,074	40,416	2051/10/18
小 計					196,065	
イスラエル			千イスラエルシェケル	千イスラエルシェケル		
国債証券	1 ISRAEL FIXED BO 300331	1.0	5,000	4,307	171,330	2030/3/31
小 計					171,330	
合 計					44,303,553	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2022年12月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円	%
コール・ローン等、その他	44,303,553	93.9
投資信託財産総額	2,890,947	6.1
	47,194,500	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (47,038,842千円) の投資信託財産総額 (47,194,500千円) に対する比率は99.7%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=135.48円	1 カナダドル=100.04円	1 メキシコペソ=6.9015円	1 ユーロ=144.71円
1 イギリスポンド=168.32円	1 スウェーデンクローネ=13.34円	1 ノルウェークローネ=13.92円	1 ポーランドズロチ=30.9148円
1 オーストラリアドル=93.05円	1 シンガポールドル=100.58円	1 マレーシアリンギット=30.7608円	1 中国元=19.4841円
1 イスラエルシェケル=39.7796円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年12月15日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	47,194,500,124
コール・ローン等	2,630,544,526
公社債(評価額)	44,303,553,691
未収利息	220,377,412
前払費用	40,024,495
(B) 負債	73,016,272
未払解約金	73,015,926
未払利息	346
(C) 純資産総額(A-B)	47,121,483,852
元本	13,852,307,346
次期繰越損益金	33,269,176,506
(D) 受益権総口数	13,852,307,346口
1万口当たり基準価額(C/D)	34,017円

<注記事項>

- ①期首元本額 14,293,258,082円
 期中追加設定元本額 1,263,464,694円
 期中一部解約元本額 1,704,415,430円
 また、1口当たり純資産額は、期末3,4017円で。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ 海外債券オープン	4,591,907,315円
三菱UFJ 海外債券オープン(3ヵ月決算型)	3,484,619,203円
三菱UFJ バランスインカムオープン(毎月決算型)	2,996,490,560円
三菱UFJ 国際 海外債券オープン(適格機関投資家限定)	1,634,047,136円
三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	616,128,900円
三菱UFJ 世界バランスファンド 50VA(適格機関投資家限定)	133,556,689円
三菱UFJ ライフプラン 50	68,498,248円
三菱UFJ 海外債券オープンVA(適格機関投資家限定)	49,862,113円
三菱UFJ 世界バランスファンド 25VA(適格機関投資家限定)	37,223,043円
三菱UFJ ライフプラン 25	30,189,995円
三菱UFJ グローバルバランス(積極型)	30,118,675円
三菱UFJ ライフプラン 75	24,834,732円
三菱UFJ グローバルバランス(安定型)	21,312,785円
三菱UFJ <DC>グローバルバランス 60型	19,998,950円
三菱UFJ ライフプラン 50VA(適格機関投資家限定)	17,674,052円
三菱UFJ <DC>グローバルバランス 40型	14,688,276円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド(安定成長型)	13,183,017円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤーフンド 2040	10,848,627円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤーフンド 2030	10,385,807円
三菱UFJ <DC>グローバルバランス 20型	8,239,301円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド(成長型)	8,105,908円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド(安定型)	6,659,624円
三菱UFJ ライフ・バランスファンド(安定型)	6,587,324円
三菱UFJ ライフ・バランスファンド(安定成長型)	4,822,267円
三菱UFJ <DC>ライフ・バランスファンド(積極型)	4,142,523円
三菱UFJ ライフ・バランスファンド(成長型)	2,853,768円
三菱UFJ ライフ・バランスファンド(積極型)	2,429,924円
三菱UFJ ターゲット・イヤーフンド 2030	1,025,947円
三菱UFJ ターゲット・イヤーフンド 2040	945,763円
三菱UFJ グローバルバランスVA	926,874円
合計	13,852,307,346円

○損益の状況 (2021年12月16日~2022年12月15日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	994,587,985
受取利息	996,433,026
その他収益金	14,145
支払利息	△ 1,859,186
(B) 有価証券売買損益	△ 405,216,891
売買益	8,199,969,267
売買損	△ 8,605,186,158
(C) 保管費用等	△ 10,266,874
(D) 当期損益金(A+B+C)	579,104,220
(E) 前期繰越損益金	33,810,920,982
(F) 追加信託差損益金	3,000,471,302
(G) 解約差損益金	△ 4,121,319,998
(H) 計(D+E+F+G)	33,269,176,506
次期繰越損益金(H)	33,269,176,506

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

マネー・マーケット・マザーファンド

《第37期》決算日2023年5月22日

[計算期間：2022年11月22日～2023年5月22日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、5月22日に第37期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第37期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準 円	価額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率					
33期(2021年5月20日)	10,182		0.0		—		—	百万円 1,245
34期(2021年11月22日)	10,182		0.0		—		—	1,637
35期(2022年5月20日)	10,182		0.0		—		—	2,897
36期(2022年11月21日)	10,181		△0.0		—		—	2,660
37期(2023年5月22日)	10,181		0.0		—		—	2,921

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 円	価額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
		騰 落	率				
(期首) 2022年11月21日	10,181		—		—		—
11月末	10,181		0.0		—		—
12月末	10,181		0.0		—		—
2023年1月末	10,181		0.0		—		—
2月末	10,181		0.0		—		—
3月末	10,181		0.0		—		—
4月末	10,181		0.0		—		—
(期末) 2023年5月22日	10,181		0.0		—		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

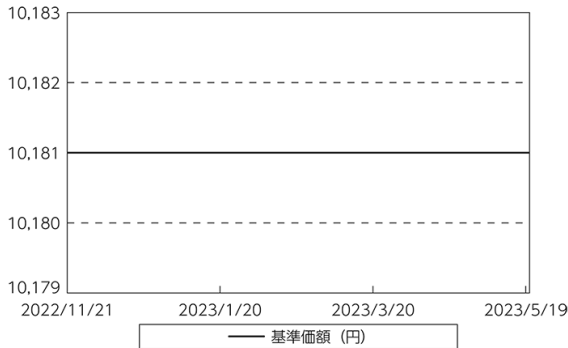
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ横ばいとなりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

利子等収益が積み上がったことが基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

運用資金に対するマイナス金利適用などが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎国内短期金融市場

- ・無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。
- ・当期間の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.034%となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

○今後の運用方針

- ・今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2022年11月22日～2023年5月22日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2022年11月22日～2023年5月22日)

その他有価証券

		買付額	売付額
国内	コマーシャル・ペーパー	千円 269,599,882	千円 269,499,890

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2022年11月22日～2023年5月22日)

利害関係人との取引状況

該当事項はございません。

利害関係人の発行する有価証券等

種類	買付額	売付額	当期末保有額
その他有価証券	百万円 1,999	百万円 2,000	百万円 -

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはアコムです。

○組入資産の明細

(2023年5月22日現在)

国内その他有価証券

区分	当期末	
	評価額	比率
コマーシャル・ペーパー	千円 2,299,997	% 78.7

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2023年5月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
その他有価証券	千円 2,299,997	% 78.7
コール・ローン等、その他	621,984	21.3
投資信託財産総額	2,921,981	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年5月22日現在)

項目	当期末
(A) 資産	2,921,981,522
コール・ローン等	621,984,405
その他有価証券(評価額)	2,299,997,117
(B) 負債	887
未払解約金	67
未払利息	820
(C) 純資産総額(A-B)	2,921,980,635
元本	2,870,024,150
次期繰越損益金	51,956,485
(D) 受益権総口数	2,870,024,150口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,181円

<注記事項>

- ①期首元本額 2,613,319,906円
 期中追加設定元本額 285,598,635円
 期中一部解約元本額 28,894,391円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0181円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030(確定拠出年金)	1,799,691,123円
三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	545,437,984円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンド>	71,485,526円
三菱UFJ <DC>ターゲット・イヤー ファンド 2030	66,609,195円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンドA>	61,994,892円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネープールファンド>	41,204,097円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	24,765,135円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>(毎月分配型)	13,122,469円
ビムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド(毎月分配型)	11,784,347円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	10,743,284円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>(毎月分配型)	9,893,887円
マネープールファンド(FOFs用)(適格機関投資家限定)	9,872,782円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	9,828,976円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし>(年2回決算型)	9,376,245円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	8,124,755円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム>(毎月分配型)	8,067,104円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)	7,489,236円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	7,196,270円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド(毎月分配型)	6,895,341円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース(為替ヘッジなし)	6,887,212円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり>(年2回決算型)	6,675,966円
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2030	6,609,861円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<Wプレミアム>(毎月決算型)	6,324,266円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	5,990,990円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし>(毎月分配型)	5,812,610円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース>(毎月分配型)	5,548,198円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム>(毎月分配型)	5,541,524円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース(為替ヘッジあり)	5,484,593円
三菱UFJ/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	5,411,821円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース>(毎月分配型)	4,489,124円

○損益の状況 (2022年11月22日~2023年5月22日)

項目	当期
(A) 配当等収益	△ 93,141
受取利息	8,257
支払利息	△ 101,398
(B) 当期損益金(A)	△ 93,141
(C) 前期繰越損益金	47,403,125
(D) 追加信託差損益金	5,169,295
(E) 解約差損益金	△ 522,794
(F) 計(B+C+D+E)	51,956,485
次期繰越損益金(F)	51,956,485

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

欧州ハイイールド債券ファンド（為替ヘッジなし）	4,289,171円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>（毎月分配型）	3,857,128円
米国バンクロン・オープン<為替ヘッジあり>（毎月決算型）	3,545,187円
米国バンクロン・オープン<為替ヘッジなし>（年1回決算型）	3,377,211円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム>（年2回分配型）	3,319,056円
三菱UFJ Jリート不動産株ファンド<米ドル投資型>（3ヵ月決算型）	3,063,931円
米国バンクロン・オープン<為替ヘッジあり>（年1回決算型）	2,990,177円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり>（毎月決算型）	2,966,566円
三菱UFJ 米国バンクロンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアアルブルコース>（毎月分配型）	2,895,129円
三菱UFJ 米国バンクロンファンド 米ドル円プレミアム（毎月分配型）	2,724,520円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム>（年2回分配型）	2,711,846円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>（毎月分配型）	2,590,474円
欧州ハイイールド債券ファンド（為替ヘッジあり）	2,515,903円
三菱UFJ 米国バンクロンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>（毎月分配型）	2,299,085円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース>（毎月分配型）	2,210,674円
三菱UFJ J/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型>（毎月決算型）	2,178,993円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース>（毎月分配型）	2,119,621円
三菱UFJ J/ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし>（年1回決算型）	2,065,331円
三菱UFJ 米国バンクロンファンド 通貨選択シリーズ<円コース>（毎月分配型）	2,007,890円
バリュエ・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型>（毎月決算型）	1,936,118円
三菱UFJ 米国バンクロンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>（年2回分配型）	1,721,384円
米国バンクロンファンド<為替ヘッジあり>（毎月分配型）	1,628,892円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース>（年2回分配型）	1,616,484円
三菱UFJ 米国バンクロンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>（毎月分配型）	1,491,640円
三菱UFJ 米国バンクロンファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンドB>	1,355,166円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>（毎月分配型）	1,339,040円
三菱UFJ 米国バンクロンファンド 米ドル円プレミアム（年2回分配型）	1,171,788円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>（毎月分配型）	1,149,232円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>（毎月分配型）	1,145,161円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>（毎月分配型）	1,074,934円
三菱UFJ J/ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型>（年1回決算型）	1,020,693円
三菱UFJ 米国バンクロンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース>（毎月分配型）	1,016,827円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド（毎月分配型）	907,086円
三菱UFJ 米国バンクロンファンド 通貨選択シリーズ<円コース>（年2回分配型）	870,254円
三菱UFJ 米国バンクロンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース>（毎月分配型）	845,131円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース>（毎月分配型）	669,935円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース>（毎月分配型）	665,580円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>（毎月分配型）	629,892円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Cコース（為替ヘッジなし）（年1回決算型）	521,457円
三菱UFJ 米国高配当株式プラス<為替ヘッジあり>（毎月決算型）	491,449円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース>（毎月分配型）	416,840円
三菱UFJ 米国バンクロンファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース>（年2回分配型）	382,241円
PIMCO 米国バンクロンファンド<米ドルインカム>（毎月分配型）	334,809円
三菱UFJ 米国バンクロンファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>（年2回分配型）	323,246円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカドルコース>（毎月分配型）	282,290円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース>（年2回分配型）	278,281円
PIMCO 米国バンクロンファンド<世界通貨分散コース>（毎月分配型）	230,764円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Dコース（為替ヘッジあり）（年1回決算型）	217,015円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース>（毎月分配型）	212,322円
三菱UFJ 米国バンクロンファンド 通貨選択シリーズ<ロシアアルブルコース>（年2回分配型）	208,430円
PIMCO 米国バンクロンファンド<米ドルインカム>（年2回分配型）	177,761円
欧州ハイイールド債券ファンド（為替ヘッジあり）（年1回決算型）	169,198円
米国バンクロンファンド<為替ヘッジなし>（資産成長型）	138,420円
三菱UFJ 米国バンクロンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース>（年2回分配型）	136,856円

三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (年2回分配型)	125,118円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)	111,354円
三菱UFJ /マッコーリー オーストラリアREITファンド<Wプレミアム> (毎月決算型)	97,104円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース> (毎月分配型)	89,620円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (資産成長型)	89,287円
欧州ハイイールド債券ファンド (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	87,384円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルレアルコース> (毎月分配型)	74,308円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (年2回分配型)	60,179円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (年2回分配型)	50,114円
テンブルトン新興国小型株ファンド	49,097円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	44,142円
三菱UFJ インド債券オープン (毎月決算型)	39,351円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (年2回分配型)	30,651円
PIMCO 米国バンクローンファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	30,437円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<ブラジルレアルコース> (年2回分配型)	20,635円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (年2回分配型)	10,795円
PIMCO 米国バンクローンファンド<円インカム> (毎月分配型)	10,787円
バリュール・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,829円
バリュール・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型> (年1回決算型)	9,829円
バリュール・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9,829円
<DC>ベイリー・ギフォード ESG世界株ファンド	9,822円
ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド (予想分配金提示型)	9,822円
ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド (予想分配金提示型)	9,822円
ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9,821円
<DC>ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9,821円
ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド	9,821円
マクロ・トータル・リターン・ファンド	9,820円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配コース)	9,820円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配抑制コース)	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配コース)	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配抑制コース)	9,820円
グローバル・インカム・フルコース (為替リスク軽減型)	983円
グローバル・インカム・フルコース (為替ヘッジなし)	983円
米国株式トレンド・ウォッチ戦略ファンド	983円
合計	2,870,024,150円

[お知らせ]

三菱UFJ国際投信株式会社は、2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更します。